

昭和二十四年三月十九日 昭和廿五年四月廿五日印刷
第三種郵便物認可 昭和廿五年五月一日發行 (毎月一日發行)

建築と社會

VOL — 31



NO — 5

THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

日本建築協會

HITACHI

日立の



建築用附帯設備

冷暖房装置

全館冷暖房にはターボ冷凍機をノ

各室冷房にはユニットクーラーをノ

アンモニヤ冷凍機 ターボ冷凍機 メチルクロライド冷凍機
アンモニヤブスター冷凍機 フレオン冷凍機 蒸気噴射式冷凍機

工事施行一式

エレベーター

客

用

荷物用

ダムウエータ

ケーブルカー

電動階段

其の他建物内部特殊輸送設備

換気扇

室内のよごれた空気を一掃して快い
新鮮な空気と入換える事が出来ます

三 相 単 相
各 種

電気井戸ポンプ

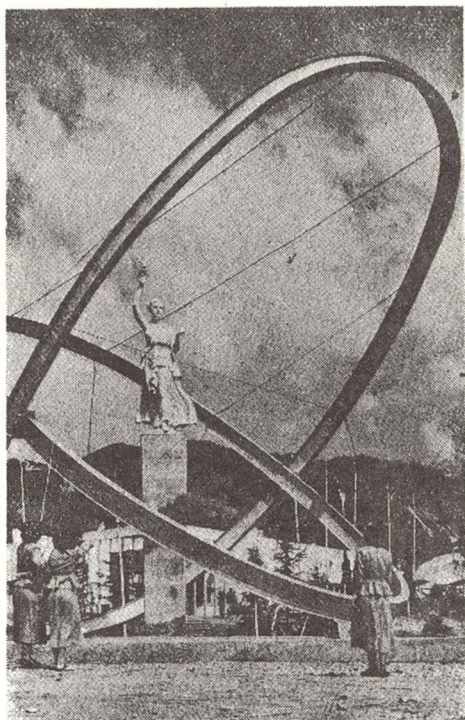
井戸水を高架タンクを使はずに自動的
に水道と同じ様に自由に使用出来ます

浅井戸用 深井戸用
各 種

東京 大阪 名古屋

日立製作所

福岡 仙台 札幌



KOBE FAIR THEME TOWER

建築と社会

5

1950・5

時の言葉 博覧會と建築家.....	2
KOBE FAIR	3
博覧會風景.....小磯 良平.....	4
神戸博建築作品.....	
AMERICA FAIR MODEL HOUSE.....	14
神戸博の建設に就いて.....野田 清三.....	18
神戸博と建築物.....河合 正一.....	21
アメリカ博覧會と其の企画.....鶴 秀 茂.....	24
博覧會と建築家の立場.....岩本 博行.....	25
アメリカ博覧會ある記.....宮 野 茂.....	30
博覧會建築と建築家の立場.....中 尾 保.....	33

米國コネチカット州における	
「都市計畫法指針」の刊行について.....	34
「伸びる家」審査評.....	36
「伸びる家」の展覧會について.....	38
建材工業界當面の問題.....伊藤憲太郎.....	39
螢光灯について.....淺田浦太郎.....	42
「建築行政情報」.....大阪府建築部指導課.....	43
建築積算便覽.....	47
會 務.....	51
會 告.....綴込及表紙三面	

時 の 言 葉

博 覧 會 と 建 築 家

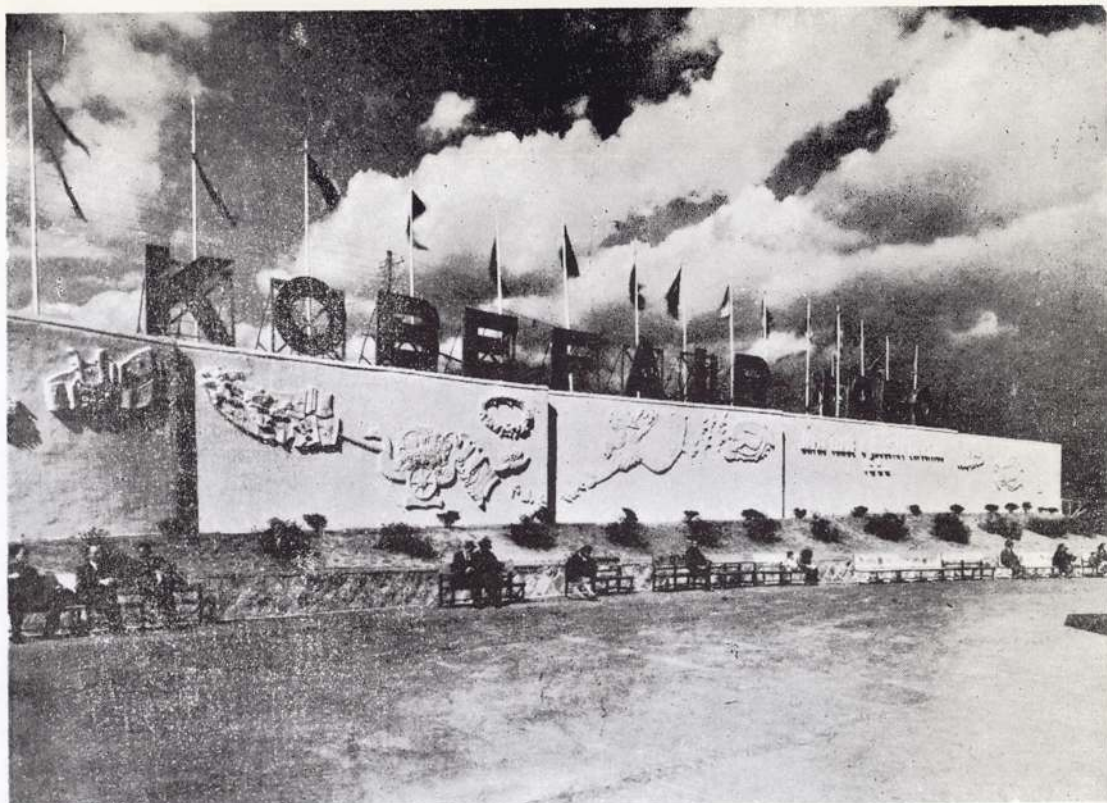
花咲く春はまた博覧會の花開く春である。もはや博覧會は、春に欠くことのできない季節の景物となつたかの慨いがある。景物としてみれば、それは正に建設技巧の咲かせた花と言えよう。

この春もまた各地で博覧會が開催され、また開催されよつとしている。

戦後五年、この國の博覧會も漸く本格的になつて來た觀があるが、建築のことに携わる者には博覧會は特に關心が深い。それは建設技巧と深いつながりがあるからである。

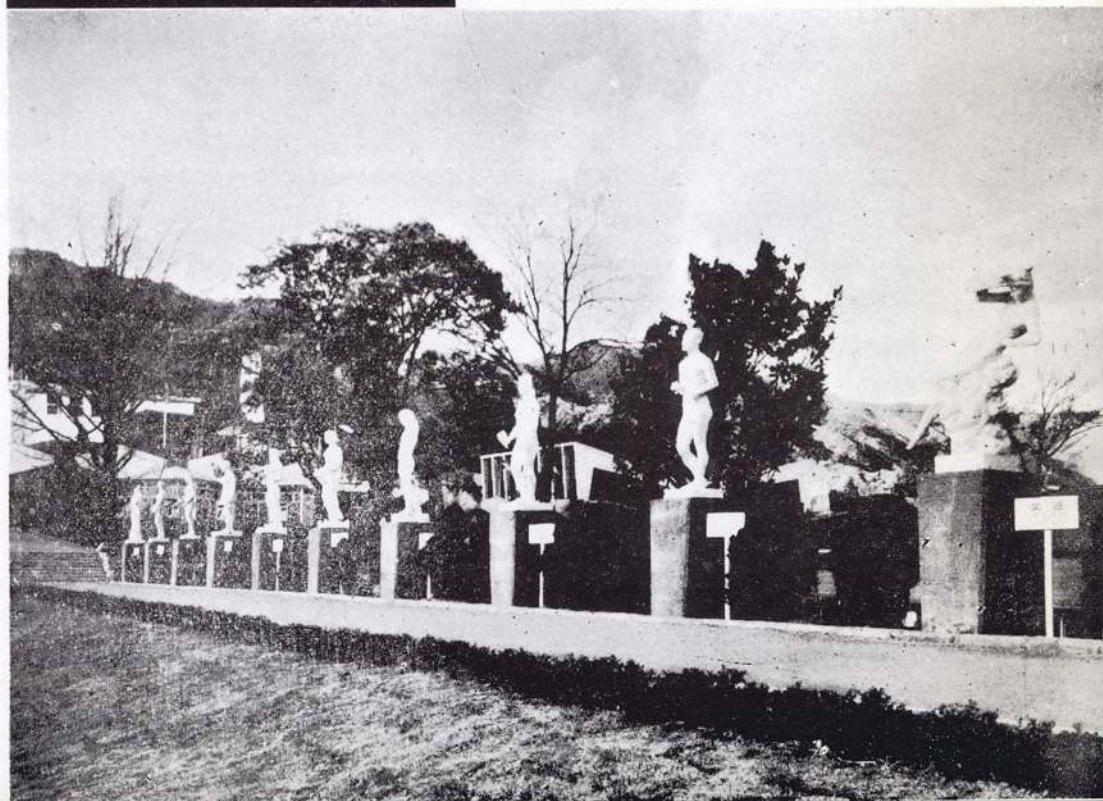
建築家が博覧會計画の實現に参画する場合建築家の責任は甚だ重大である。それは恰度演劇における作家と演出家と舞台裝置家との關係とよく似ている。博覧會で造られる施設は大部分が一時的なものであるが、しかも觀る人に對して最もアトラクティブで、イムプレツシヴでなければならない。そしてまた高い能率性が要求される。こゝこそ建築家の夢と技巧の世界である。

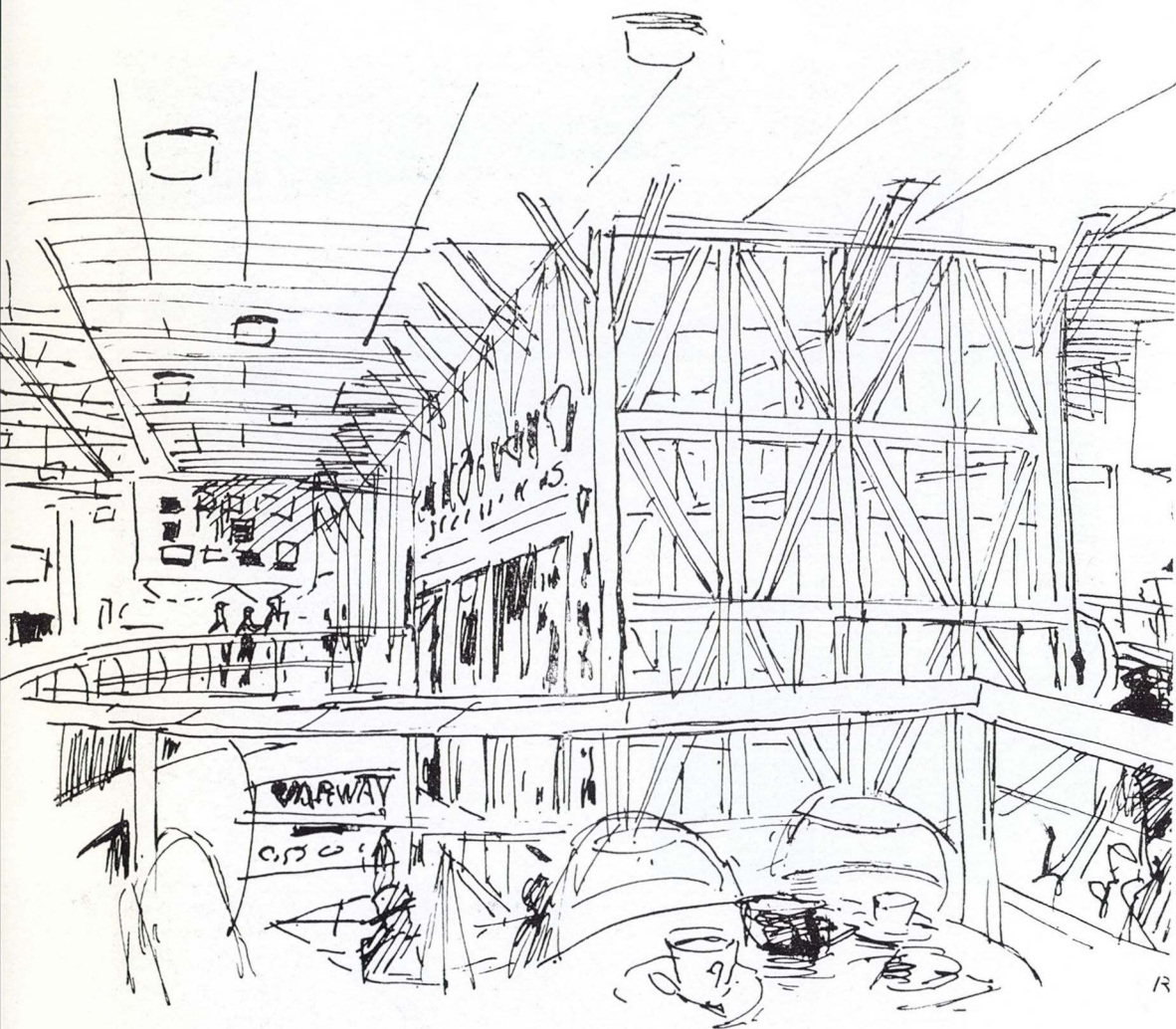
主催當事者と建築家との間の相互の深い理解と協力とだけが、一層美しい博覧會の花を開かせるであらう。



K O B E

F A I R



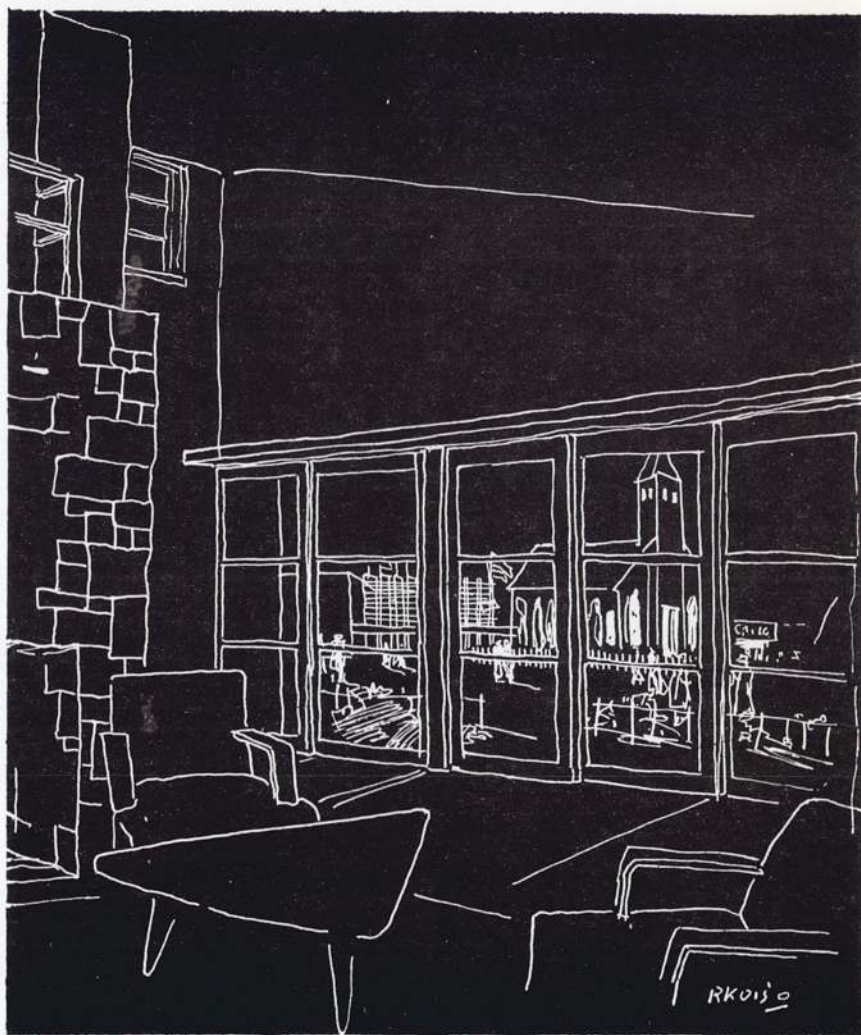


神戸博

王子公園のコーベツエで、私の素直な感覚に合致する場所を探しているうちに外國館で足が止まった。素直な感覚は色々な條件を平均して邪魔するものの僅少である事を必要とする。

現在までの日本での生活の周囲は色彩や物の形等で混雜しているのである。博覽會の建物は洋式であるから、その展示された物品が日本的な色や形をもっているよりは外國の文學や外國の衣裳と色彩であつた場合の方が勿論素直に受けとれるのは道理であるから、私はここは感じがいいと思つたまでである。日本の博覽會は幾年経つて後開催されても、いつも外國館の方がまどまつていると思われる事になる。これは致し方ない。

博 覽 會 風 景

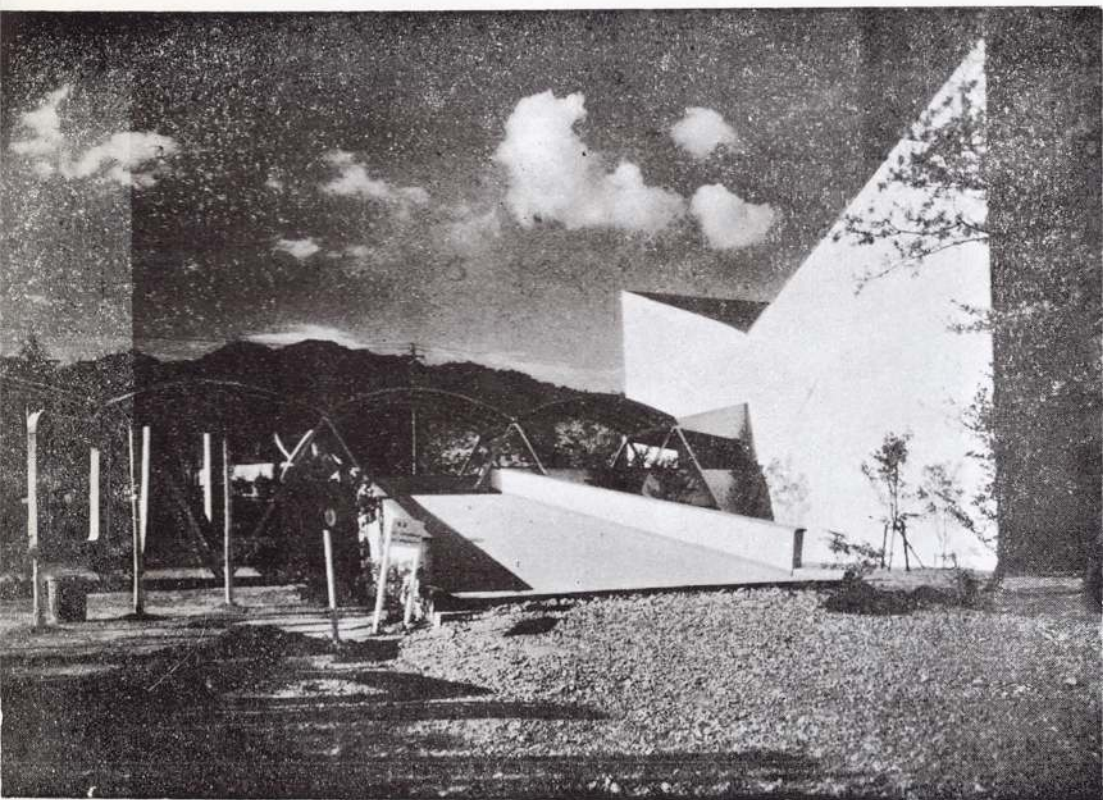


アメリカフェア

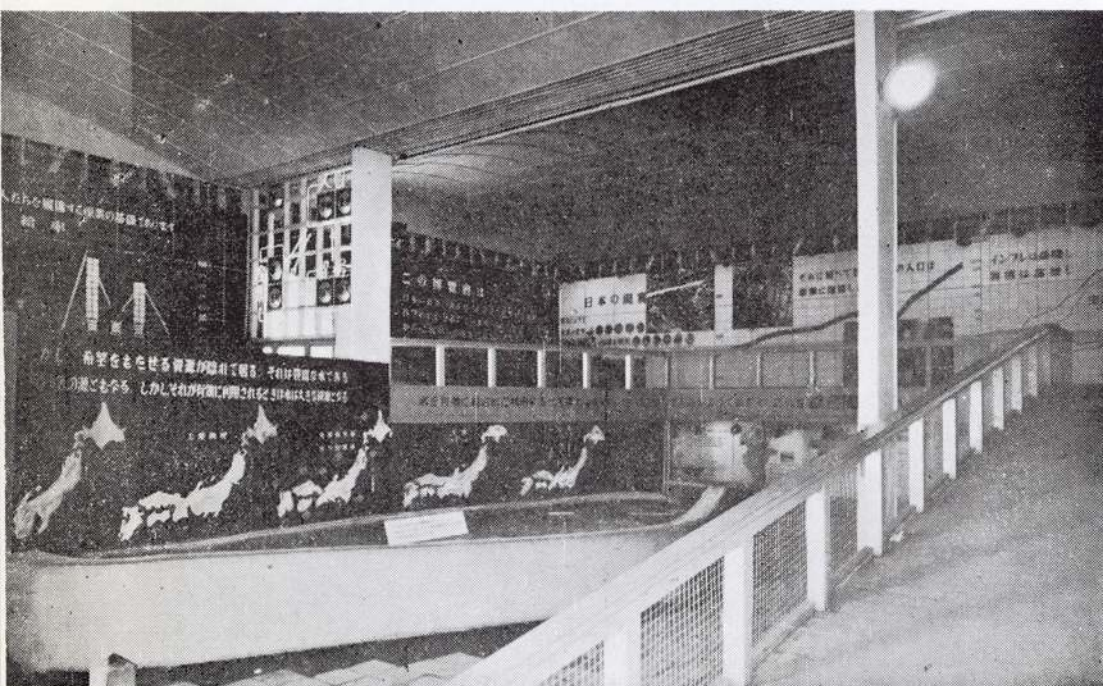
ここは神戸博よりはすこしく博らん會らしくない外観をもっていることで損である。

兩方ともお粗末なのは致し方ないとしても、今すこしお粗末でない外観をもつた博覽會を一生のうち一度みて置きたいものと思つている。

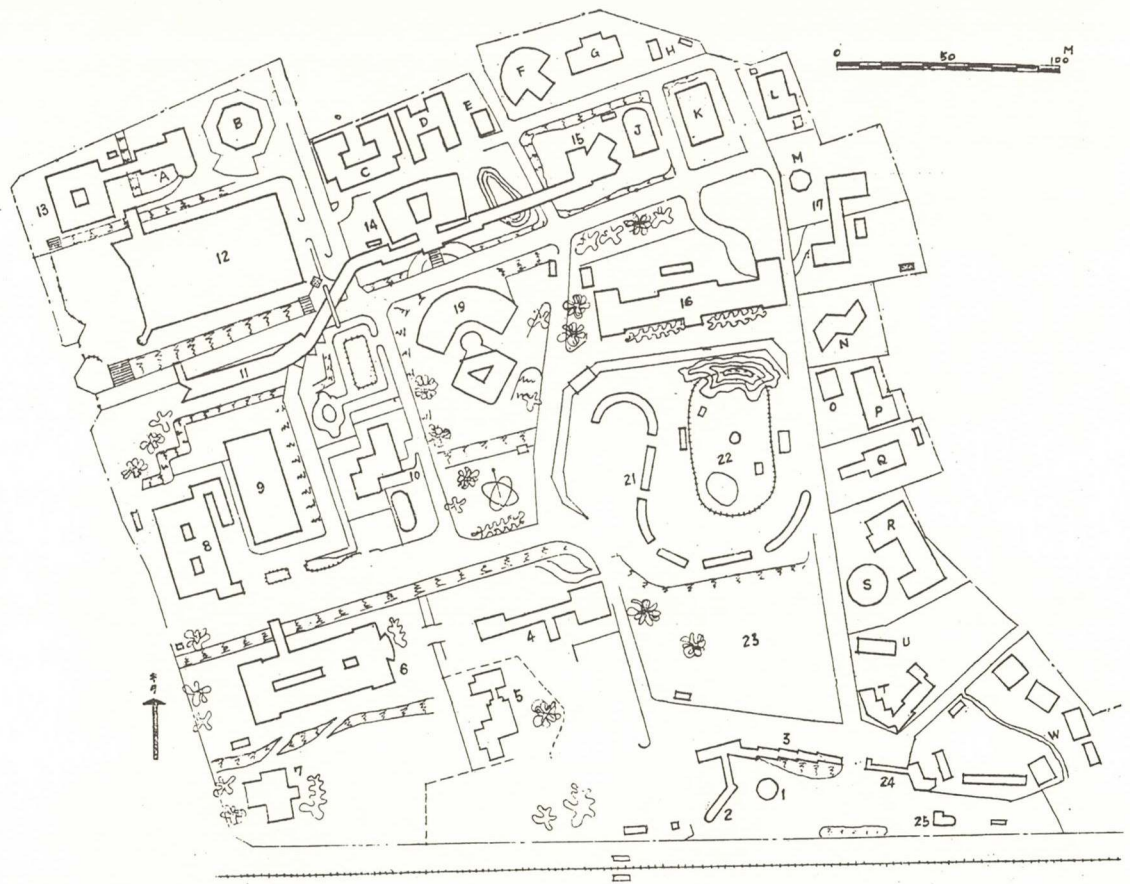
はるばるみにくる日本の田舎のお婆さんが、紙と泥と板片で出来たものが博覽會だと思つたまま死んでゆくのも氣の毒だ。一部内容は勿論いいものをならべてあるとしても。



第一号館
設計 山口文象



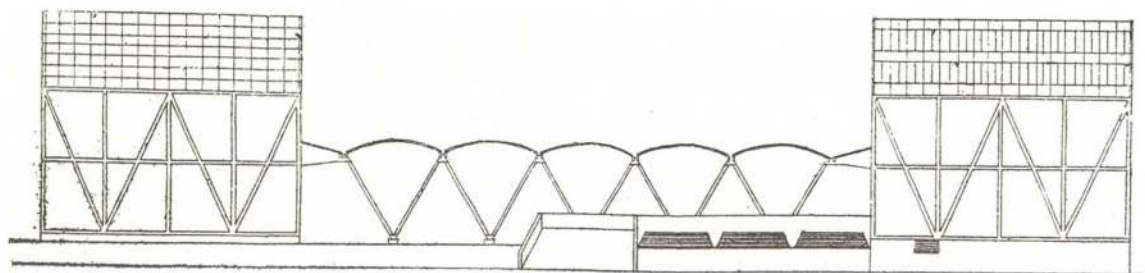
神 戸 博 配 置 圖



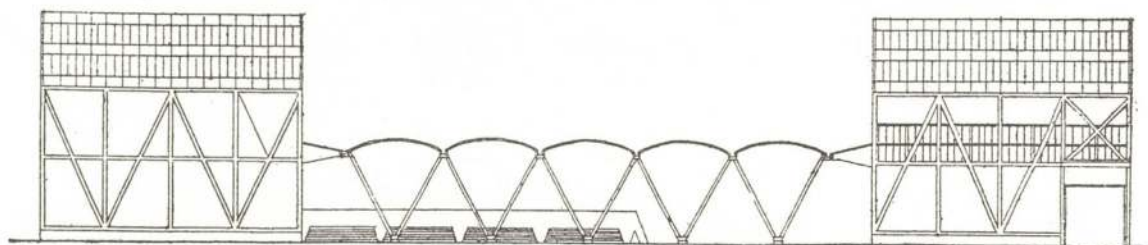
日本貿易産業博覧会（神戸博）

第一会場

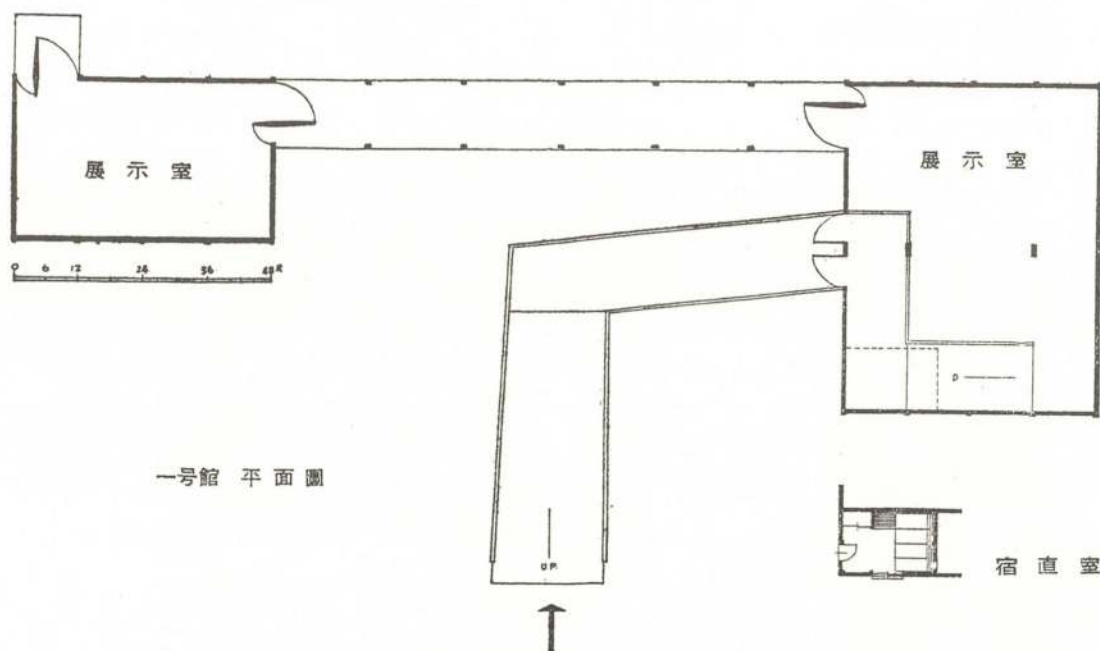
1 切符賣場	13 第二同（生産）	A 兵	庫 M 日	立
2 入口事務所	14 第一通商館（通商）	B 神 戸 製	N 中 日 本 重 工 業	
3 賣店郵便局	15 第二通商館（通商）	C 東	O ウェルビー鉛筆	
4 新日本記念館 （序曲及資源）	16 第一文化館（文化）	D 九	P 栃	木
5 迎賓館	17 第二同（同）	E 帝 國 酸	Q 川 崎 重 工 業	
6 資源館（資源）	18	F 大	R 東	京
7 観光館（リ）	19 野外演藝場	G 奈	S いすゞ自動車	
8 外國館（世界）	21 即賣店街休憩所	H 酒 の	U 日 産 自 動 車	
9 プール	22 小供樂園	J 電 氣 通	W サイドショー	店
10 レストラン無料休憩所	24 出口	K 愛	及 賣	
11 プロムナード	25 自動車配車所	L 京	都	
12 第一生産館（生産）				



立面圖 南側

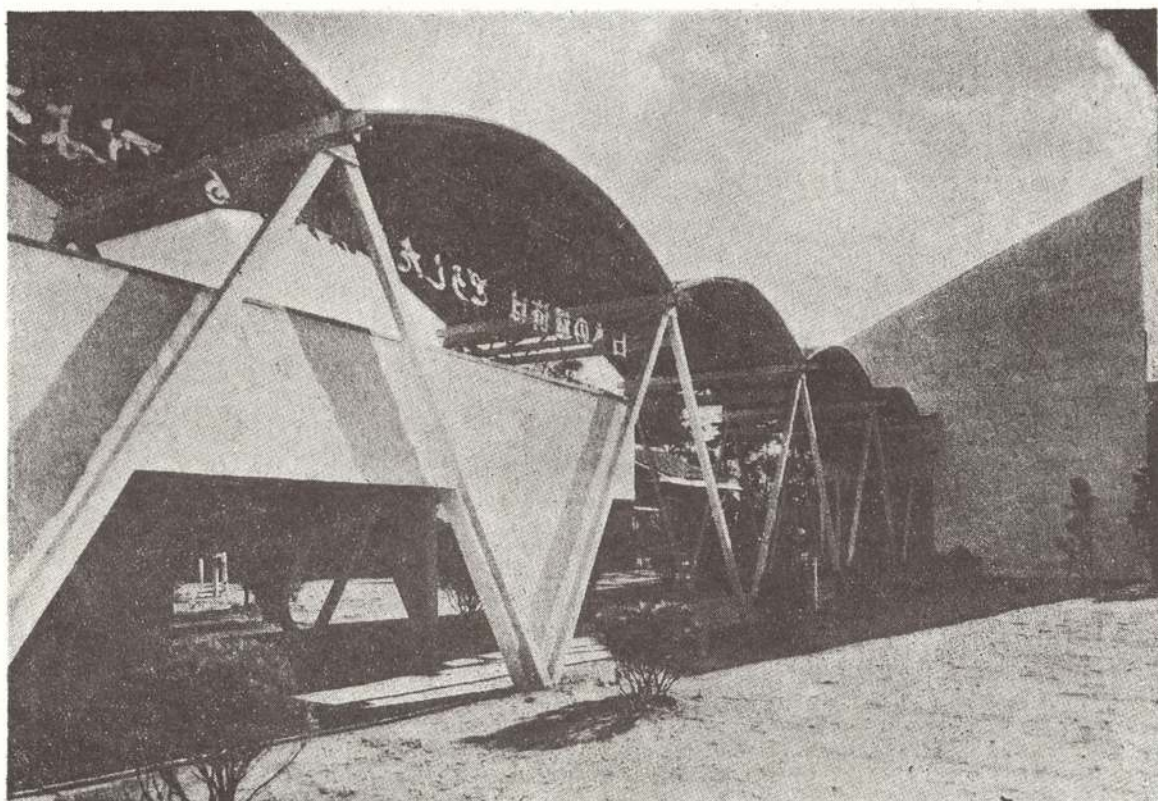
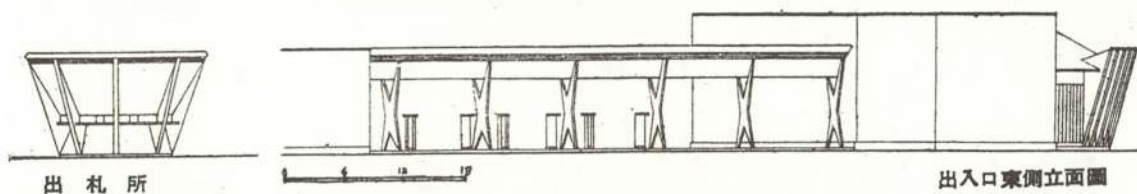
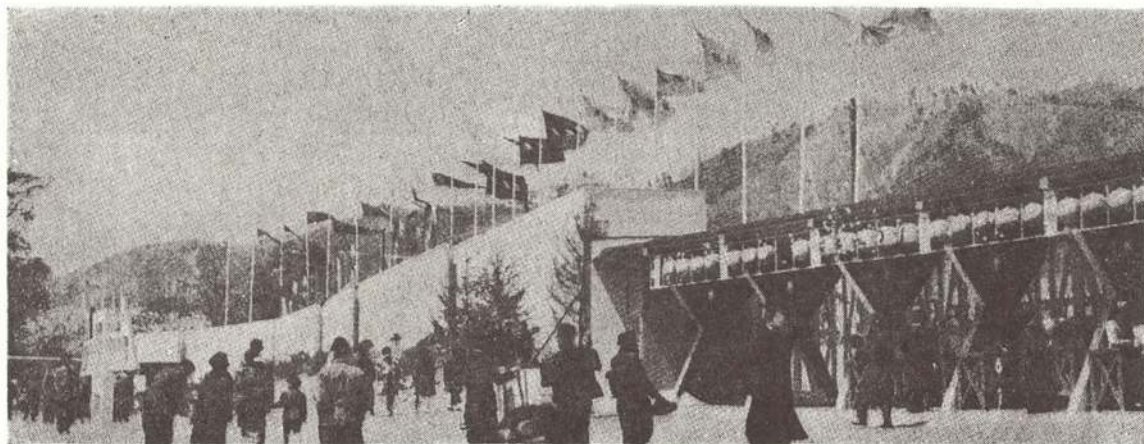


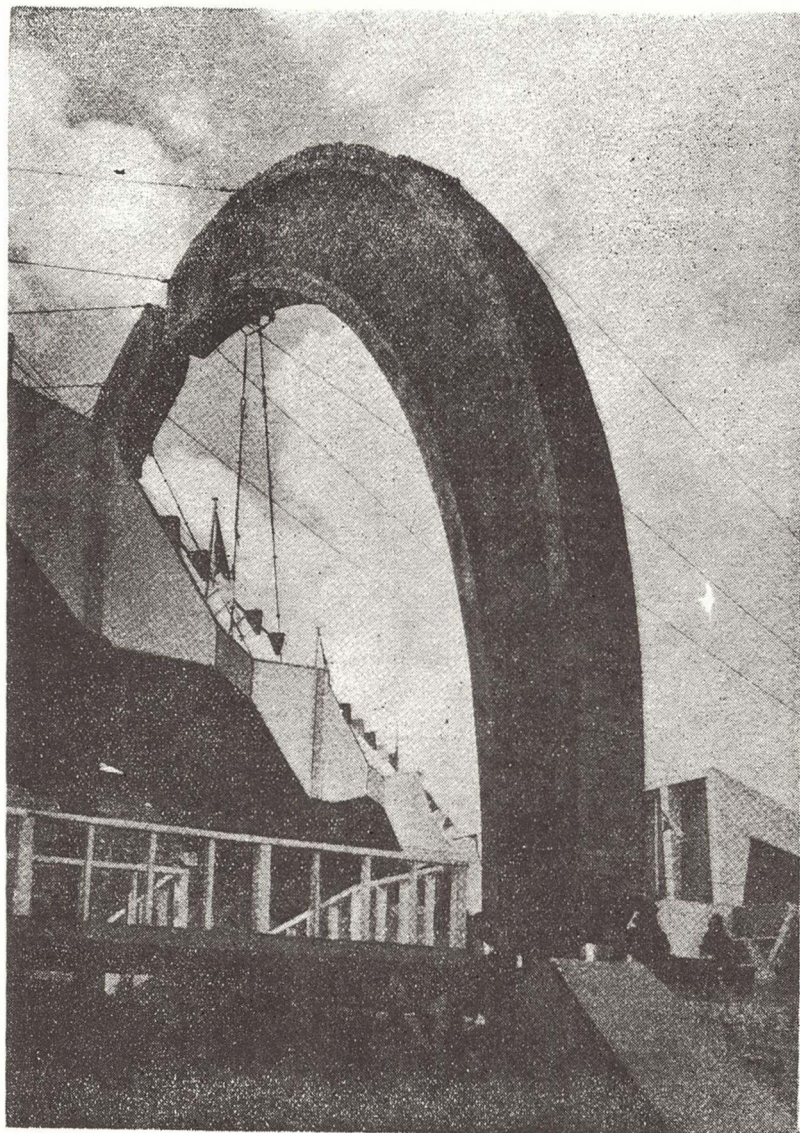
立面圖 北側



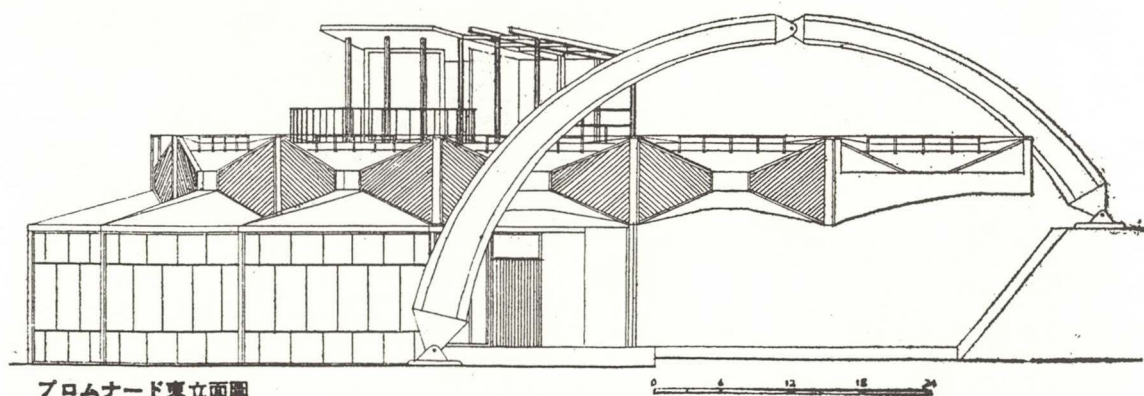
一号館 平面圖

宿直室



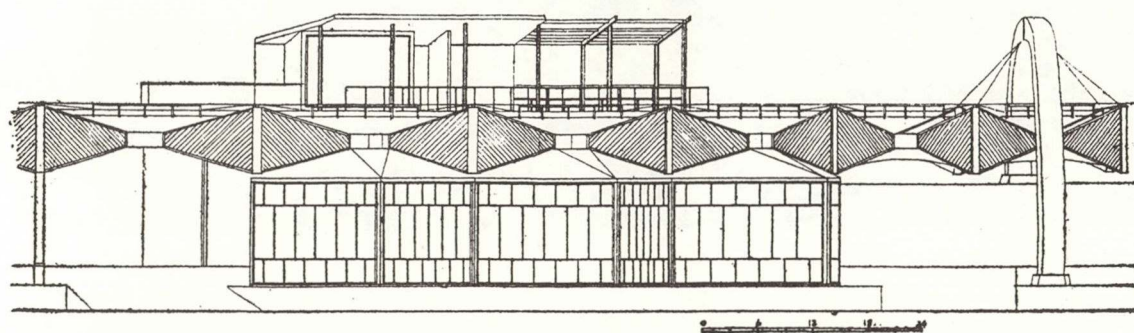
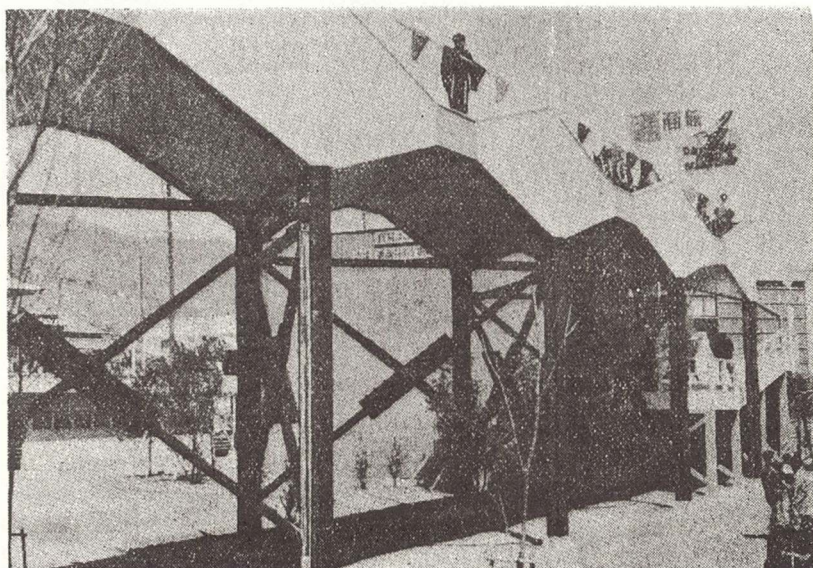


プロムナードブリッジ
池邊陽研究室

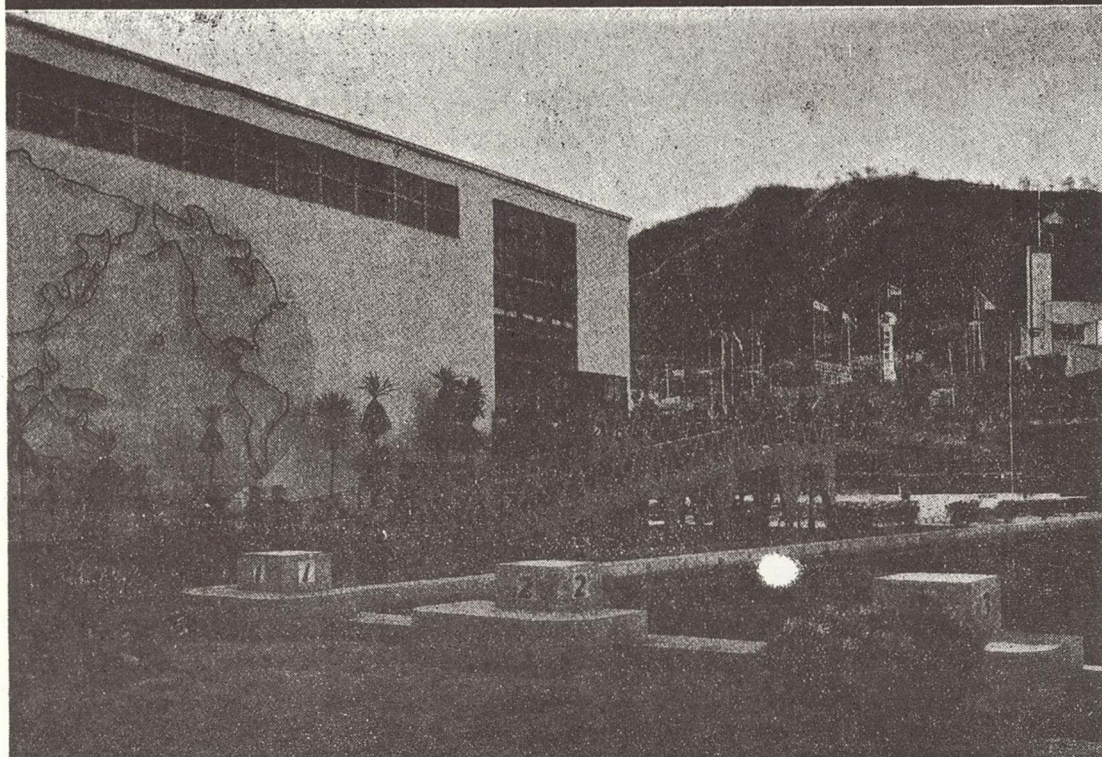


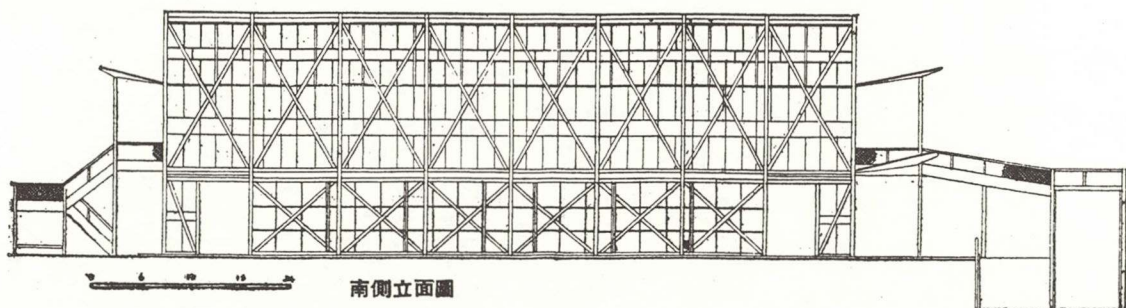
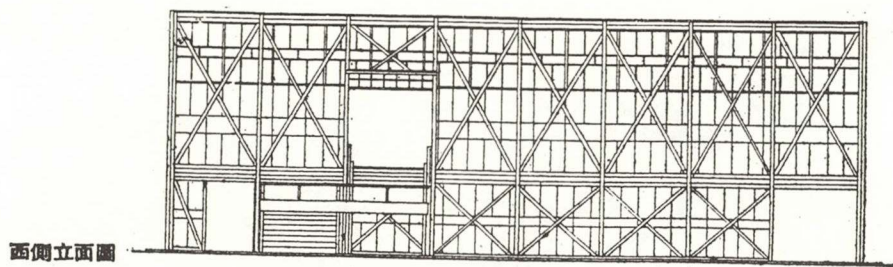
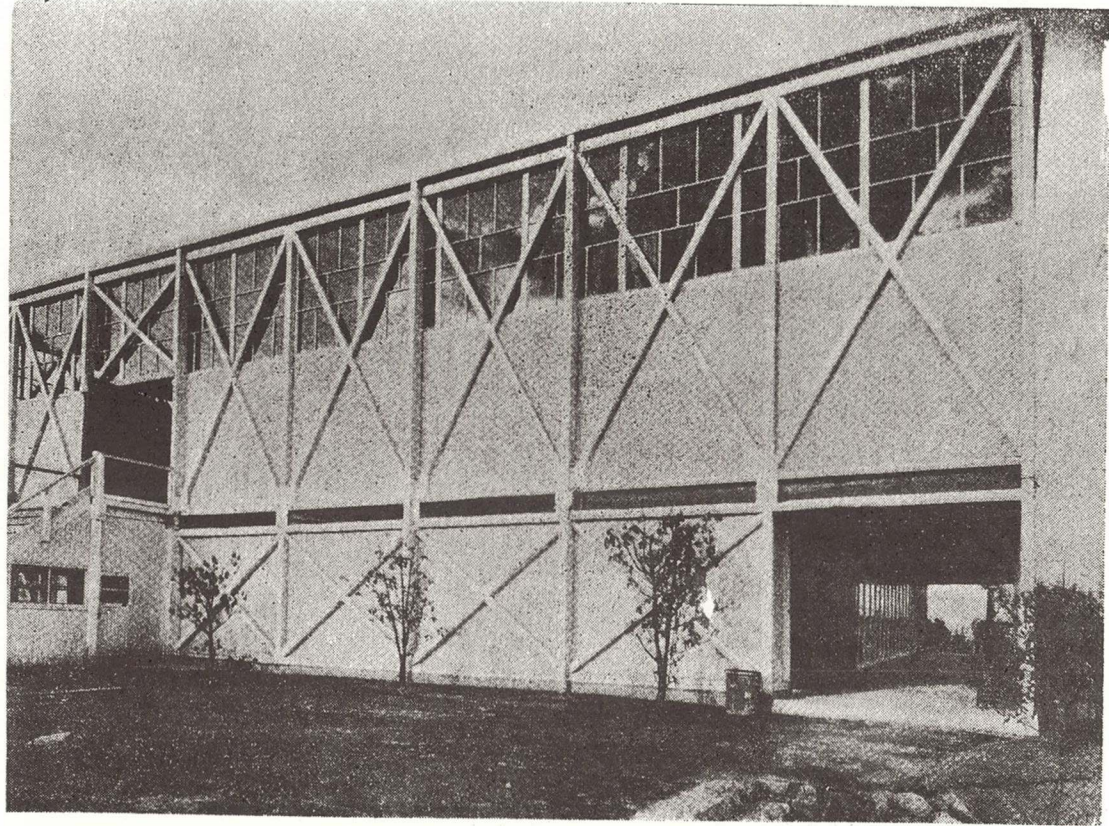
プロムナード東立面図

ブロードナード南立面圖

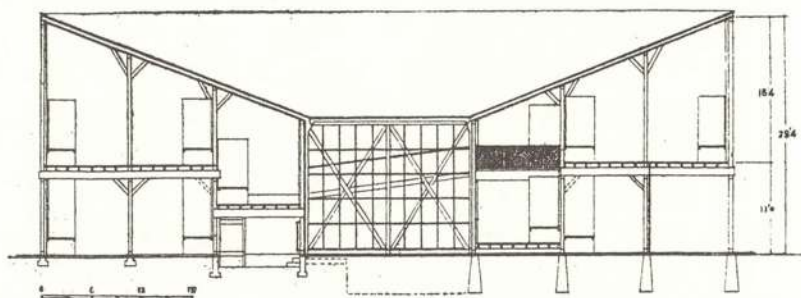
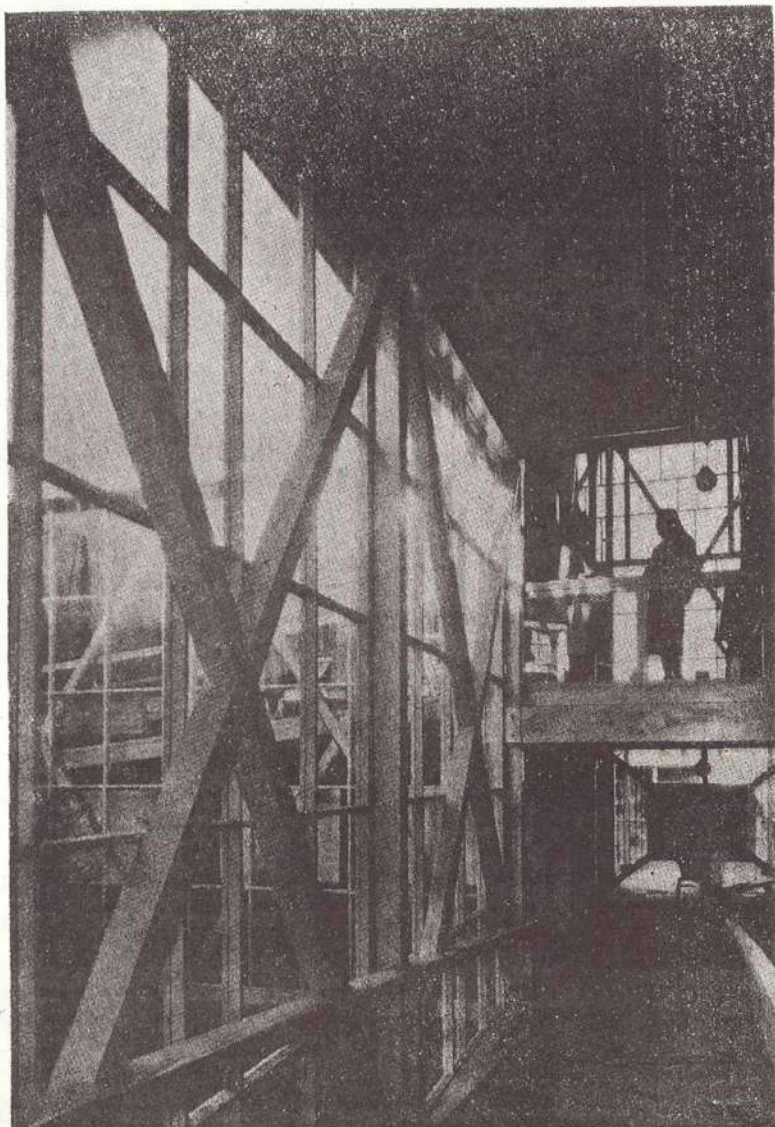


三 謙 畑 東 設 計 館 國 外

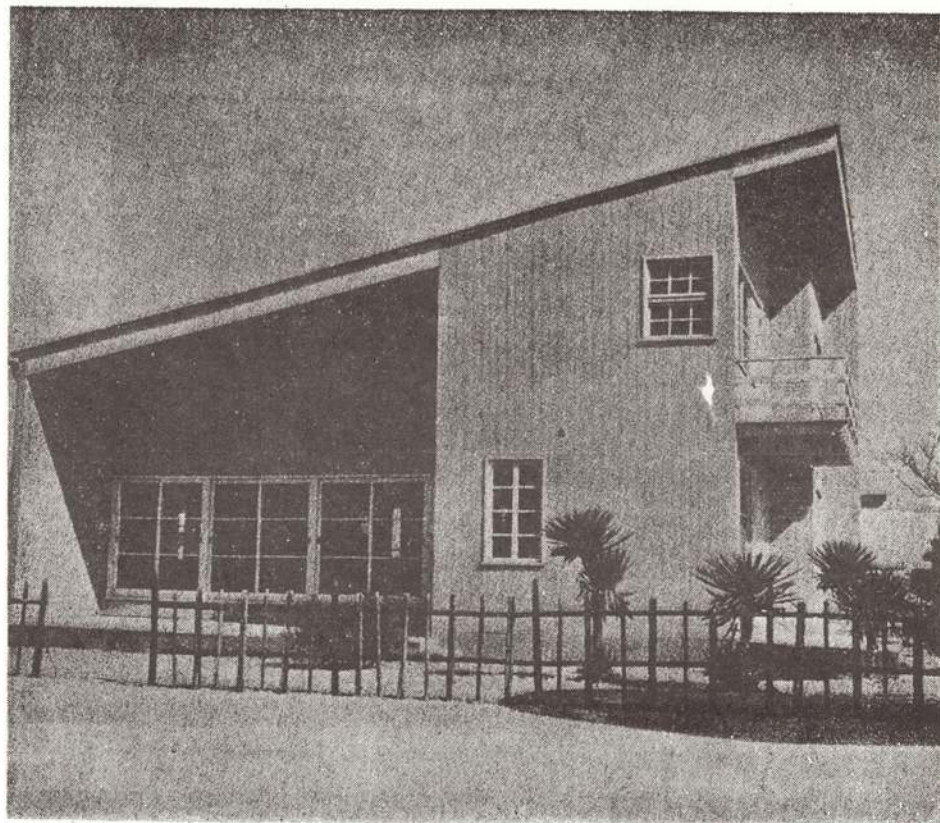




第二生產館
設計 丹下健三



X-X 断面圖



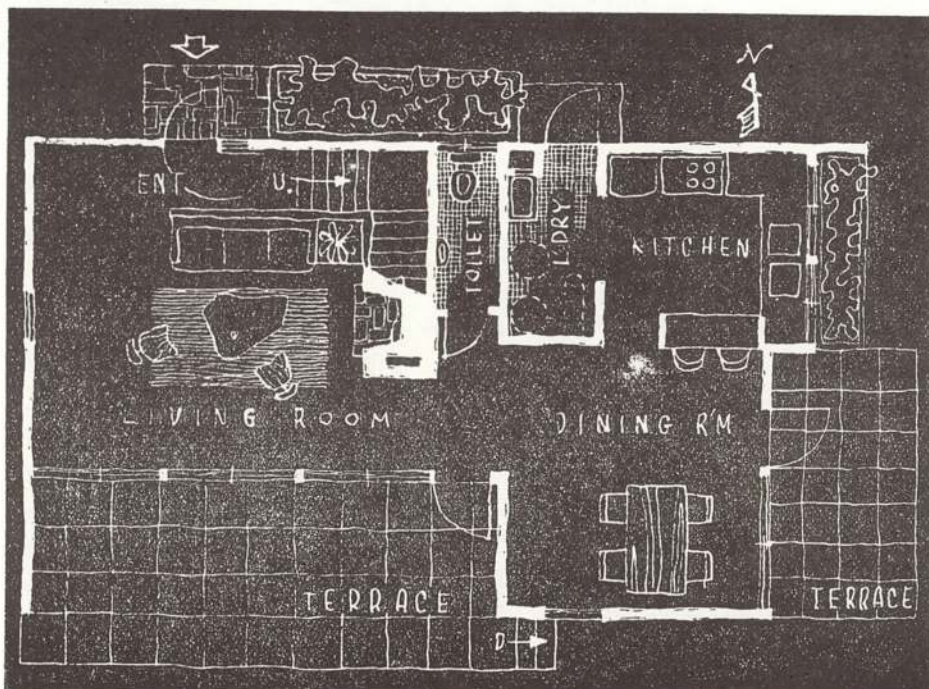
AMERICA
F A I R

MODEL
HOUSE

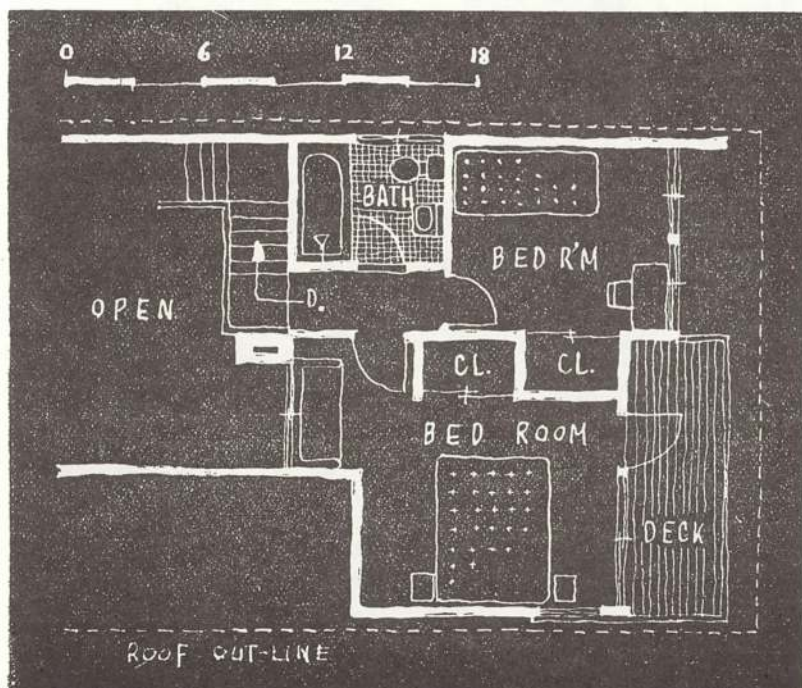
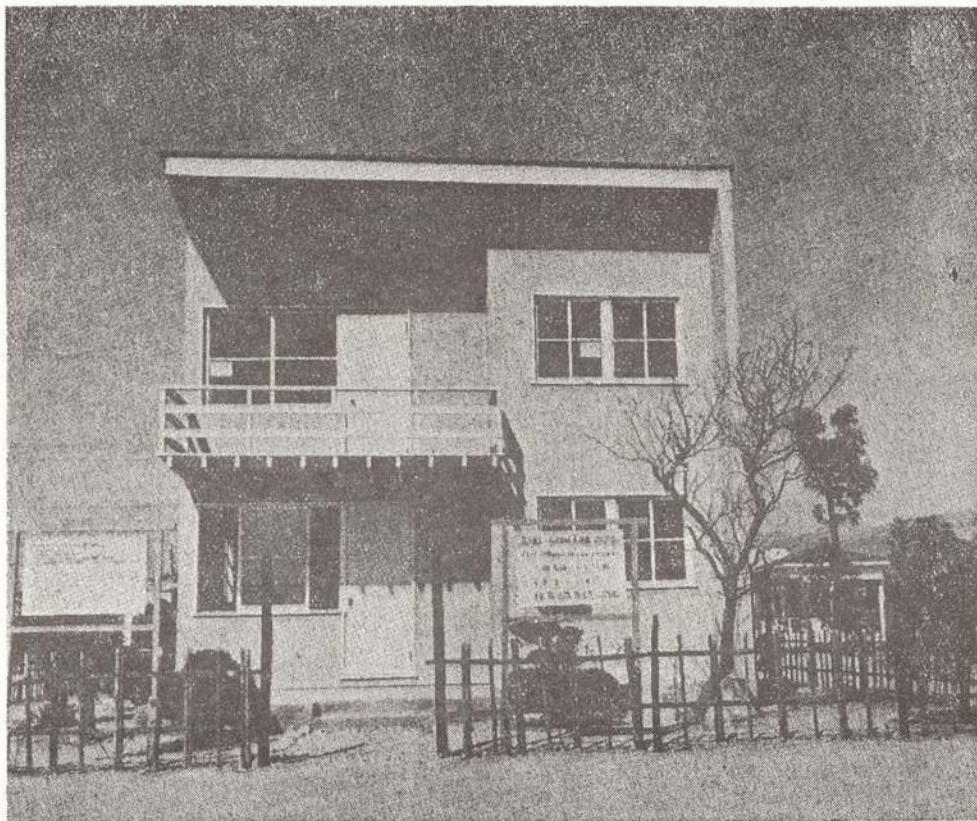
A

1ST. FLOOR
P L A N

16.25T



S.1:100



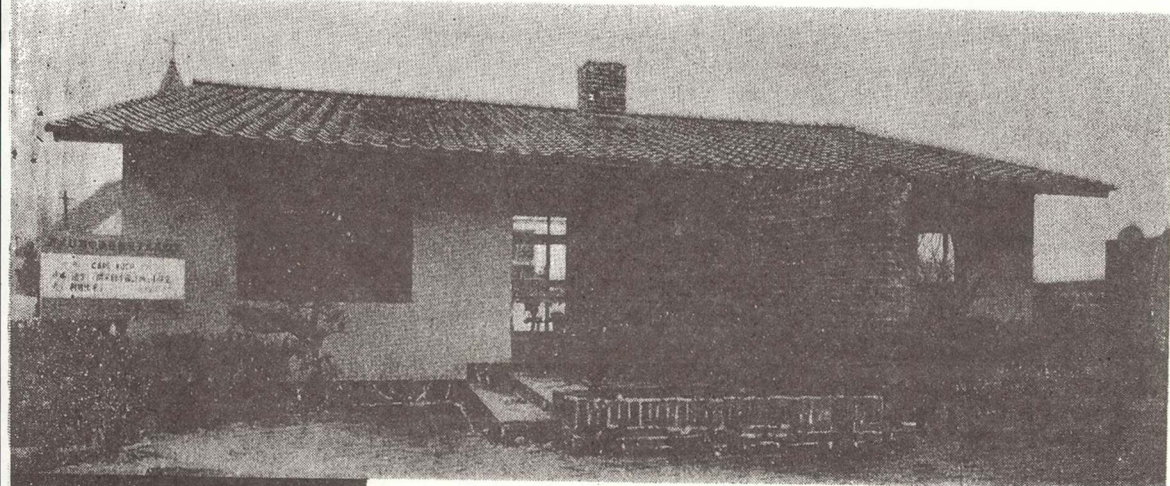
2ND. FLOOR P L A N

8.75T

TOTAL

25.00 TSUBO

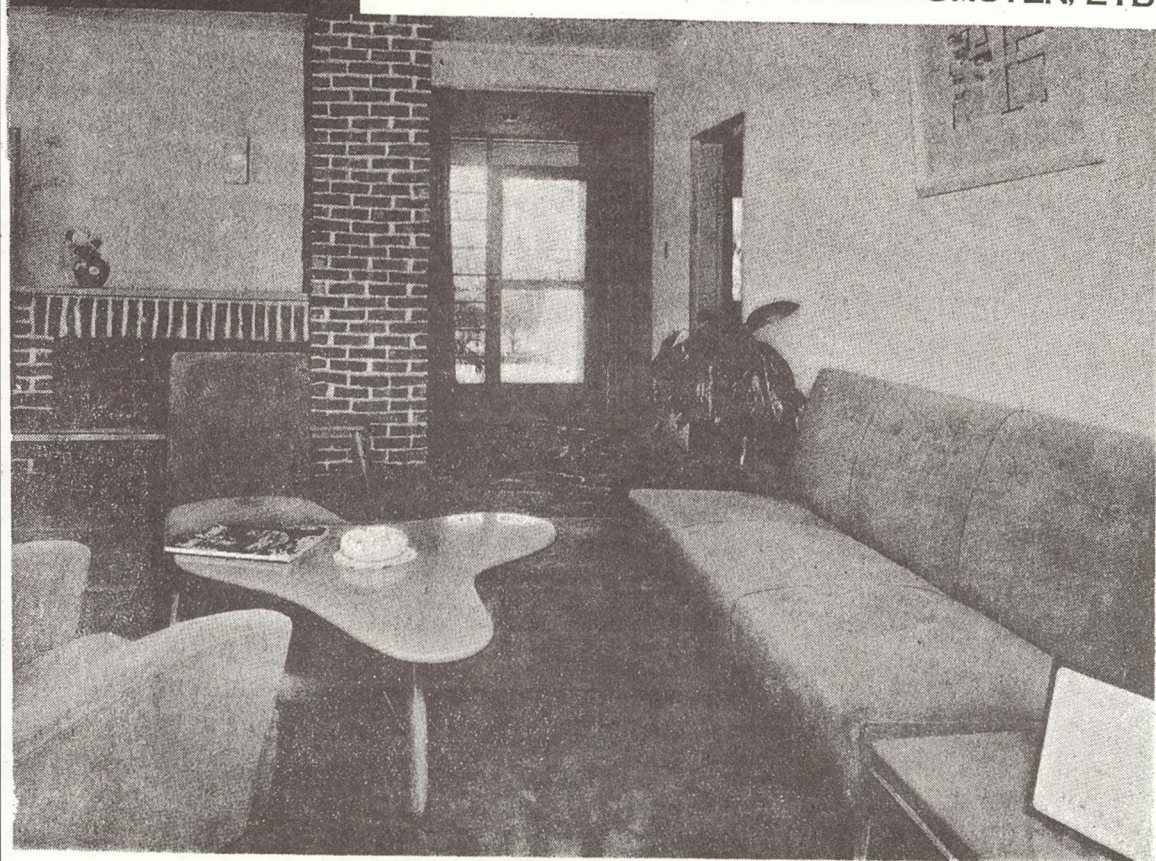
DESIGNED BY
ŌBAYASHI-GUMI,
LTD.

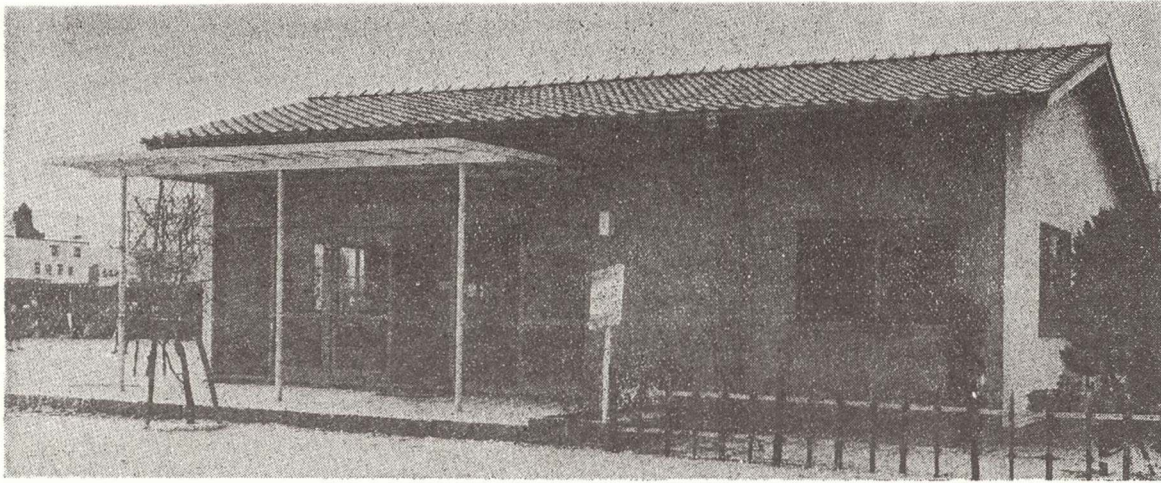


AMERICA FAIR MODEL HOUSE

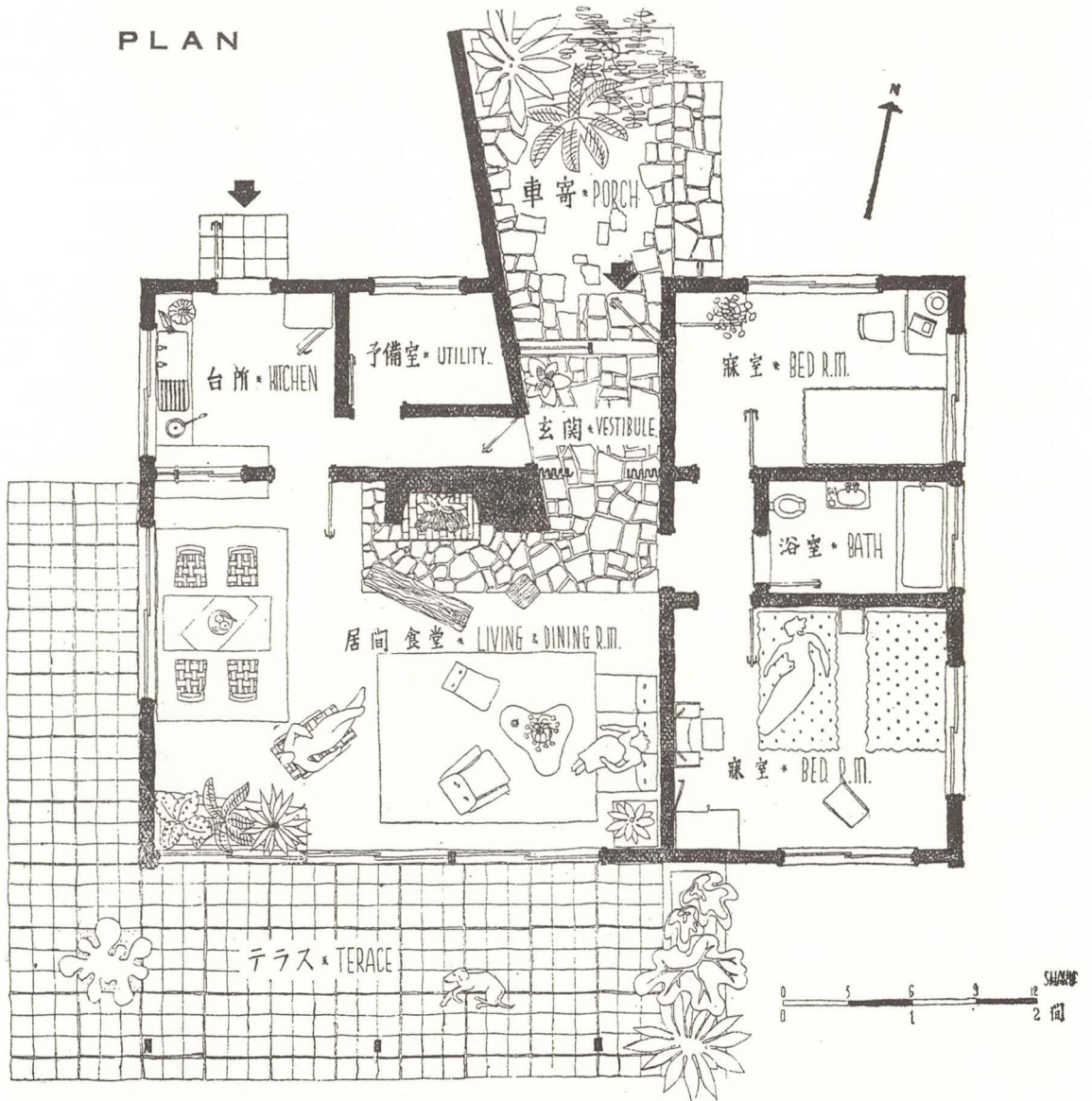
B

DESIGNED_BY
TAKENAKA KOMUTEN, LTD.





PLAN



神戸博の建設に就いて

野 田 清 三

抑々神戸で博覧會を開こうと云う計畫は、昭和22年春故小寺前神戸市長就任當初からの抱負であつて、之に依り戦禍で焼土と化した神戸の貿易産業の振興と、文化の發展とを圖り、併せて市公共施設の復興に資せんとするものである。昨24年春に至り、漸くその機熟し、同6月日本貿易産業博覧會、略稱神戸博と名乗を揚げ、新形式のテーマ展開法を採用、豫算4億7千万円を以て兵庫縣と神戸市とが共催する事となつた。會期は去る3月15日から6月15日迄である。之が建築には市の建築課が當り、法規的監督面では縣の建築部に協力して貰つた。

會場の撰定には、最初王子公園の他に、布引公園、或は須磨海濱公園と候補地が挙げられ、會場の數も單複兩説が出て論議されたが、結局敷地の大きさ、交通の便の他、地元の要望も容れて、王子、湊川の東西2會場に決定を見た。王子會場の敷地は、元關西學院跡と其の隣接地を含む市立王子公園であつて、都市計畫の上では綜合運動場に指定されている。南は市電八幡線に面し、省線難驛の北2丁にあり、東西の廣さ約200間、南北約190間、面積約45,000坪で、南北に約30米の高低差のある傾斜地である。又湊川會場は湊川新開地の北に續く市立湊川公園で、市電山手線の所謂湊川トンネルの上に跨がり、敷地面積5,000坪、市立勸業館を中心とするものである。後者は今回建築として述べる程の事も無いので、此處では主として王子會場に就て述べる事にする。

王子會場の諸施設の配置を計畫するに當り先づ考えなければならぬのは次の諸要點であつた。

1. 原形の特性を生かし、無理な整地の排除。
2. 今回の施設を將來の運動場に可及的利用。
3. 既存施設の活用。
4. 博覧會シナリオと建物配列の合致。

5. 傾斜地の登攀が樂で且互に交又せぬ導線。

即ち會場の西半は美しい森もあり又將來とも此原形を保存し得る處なので、恒久的施設となるべき迎賓館（轉用後市公館…元社務所の改造、以下同斷）3號館（小美術館…元禮拜堂）プール（新設）4號館（水泳館…新築）野外劇場（元相撲場）等を配し、之に反して東半の大部分と北添いの一帯は、將來更に一段の整地を要する地區なので、今回は最小限度の整地に止め、唯10號館（選手宿舍…元校舍）を除き何れも一時的施設を集めた。之等の制約の爲特設館の豫定地に充分な余裕がとれなかつた憾がある。南北の傾斜地を登る場合に出来るだけ之を緩和する目的で、東西にジツグザツな導線を探り、又一部には東西に長く陸橋を架けて之に連る各段地の連絡通路とすると共に、展望遊歩廊に利用、又之と交又する他の導線を立体的に分離する事に役立たせた。又今回博覧會の特色とするシナリオのテーマが、序曲、國土、世界、生産、通商、文化と展開するに従い、夫々に屬するグループの主要館を配列し、之に次いで特設館を、最後に娛樂的施設を配置した。

建築總坪數は約7,000坪で、大別すると博覧會自体で建てるもの5,000坪強、特設館2,000坪弱此内現地利用の建物1,300坪である。又終了後現地殘存豫定のもの約3,000坪。他は何れも他處に移築の豫定である。

日本の現状では博覧會のみを目的とする建物に重要資材を使用する事は許されないので、終了後の目的を確立し、之を主眼とする計畫を建てた。即ちそのまゝ將來運動場施設になるべきものは別として、他は總て終了後は他に移築して校舍や公民館に轉用される事としたので、之等の設計には例えば校舍にする物では、市の校舍規格に準據する事とした。木造建の物は大概2階建吹抜き、柿

板葺きとし、館内一部に中2階を架け、展示効果を豊かにすると共に、中2階歩廊をそのまま館外に導き、高低差ある隣地への導線の軽減に資した。特に地形の関係から、屋根面が見下される場合が多いので、其の取扱方に注意した。館内土間通路は後の轉用を考へて道路舗装用コンクリートブロックを用いた。鐵骨建築は6號館で、舊海軍航空隊格納庫の構材を轉用し、將來体育館とする目的を以て内法高等を定めた。既存建物は戦災により甚しく破損荒廢していたが、總て本格的修理復舊を施す事とした。館内展示裝飾は、出品部の計畫が仲々樹たないので、建築から切離して考える事になったが、結果は面白くなかつた。

主要建築の實施設計は大部分建築事務所に依頼する事とした。之は博覽會の爲に市の平常業務が支障を來したり、又臨時増員も許されないで、僅か3名の課員を専任して建築の調査や基本準備諸手續、雜設計、其他の總括的業務に當らせる他は、基本計畫と豫算の概要を示して、一切事務所にお任せする事にした。

入札方式は、縣市及大學、商工會議所の關係者によつて審議會を組織し、その結果、1件1業者主義、1回の入札に縣市指定業者の中から10名宛を撰んで競争入札し、各業者は三回まで参加出来る。又工事の大小、難易に應じて之を3クラスに區別して、夫々適當な組合せをする事に決定し、市に於て之を實施した。

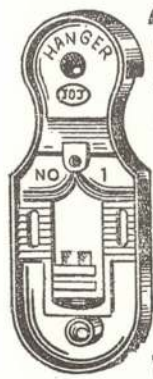
附帶施設は總て市建築課に於て設計をした。電氣は場内自家用とし、本部建物(10號館)の受電

室にて配電會社より受け、場内各部に配線している。使用電氣量千KW、照明は館内に主力を置き館外は夜間閉場の爲、單に特定建築物への投光照明の他は、會場内夜警に必要な最小限度の屋外燈に止めた。電話は會場が市内通話管外にあるので特に無理をお願いして、余裕の少ない市内局の電話線10本を引いて貰ひ、本部の交換台によつて各館に連接すると共に、公衆電話も要所に配備した。場内放送としては場内トラムベツト及び各館内に兩面スピーカーを取付けた。給水は市上水道の2系統を引込み、會場内各所に給水することにした。消防施設は特に重視し、水道消火栓の他、プールや池、貯水槽等の貯水利用を考え、又自動並に手動火災報知機を各館に多數取付け、之を會場内消防員詰所の標示裝置に連結して、火災の早期發見に備へ、更に場内に消防自動車2台を常駐せしめて萬全を期した。瓦斯は主として炊事場、浴室を具備する特定の建物にのみ用意した。

建設の経過を顧みるに、一般配置計畫は、種々の試案を基として、先づ其第1次案を得たのは、昨年6月上旬で、直ちに現地民家の立退き移轉に着手した。次で7月下旬より整地工事を始めたが岩石や石垣、基礎の殘骸が多くて、短期間では仲々の難工事であつた。第1次案は其後更にシナリオに依つて幾度かの検討と修正が加へられて、愈々最後的な案に達したのは、8月中頃。之に依り實行豫算を組み、建築認可申請の手續きを出して實施設計に取かゝつたのは9月下旬である。

11月上旬、建設省の認可が下りるや、同時に主要建物の入札を行い、工事に着手したが、出品部側の度重なる變更に悩まされ、又豫定以上に出品量の増加と、情勢變化に伴う必要性から、建築の配分に變更を加へ、急に本館關係の増設を余儀なくされて、可成り無理な工程に追込まれるものも出來た。ともすれば工程が遅れ勝ちとなるので、度々工事關係者相寄り、工程打合せと、難關打開の協議を行い、工事の促進を圖つた結果、幸にも目標通り2月中旬を以て大略主要建物の竣功を見るに至り、3月15日の開場迄の1ヶ月を展示と造園の工事に與える事が出來た。

特設館は、之を出品する各府縣及び産業方面の



建築 (J.O.J) 金物

J.O.J印ドア-ハンガー

工場、倉庫、ガレージの扉に
御使用を御奨め致します
(全國金物店にあり)

代 湯淺金物株式會社
理 大阪・東京
店 岡谷鋼機株式會社
大阪・名古屋・東京

関西支店 大司鑄造株式會社

出足鈍く、其の見透しがついたのは12月も末で、敷地の配分と順路の決定には、主催者側の意圖を無視し身勝手な自説を固執されて、随分手を焼かされたものもあつた。申込数が次第に多くなつて配置計畫の変更をやらされ、終には収容し切れないので御断りをするにまで至つた。又中には設計と工事を市の方に依託された處もあつた。

電氣と電話の引込みは早くからお願いしてあつたが、何分にも會場附近は都心から離れ、復興から取残されているので、送電、電話の兩線共新に遠くから建設して來なければならず、資材と豫算或は管區の關係に於る隘路の爲に仲々容易に事は運ばず、博覽會側としては大いに氣を揉ませられ

た處である。

以上僅か1年足らずの短期間に、白紙の上から總ての部門の準備と建設を強行させられる結果、出品部側の立遅れは建築の方に嚮いて設計にも工事にも非常に苦勞させられた。又關係のある面は非常に廣範圍であるので、時には船頭多くして船進まずの感を深くした。幸い建設の面に於ては、關係者各位の非常な熱意と協力で、豫定の期限内に完成を見た事は、感謝の他無く、又今回の我々の仕事に對して陰に陽に、御指導と、御支援を賜つた局外の各位に對しても、厚く御禮を申し上げる次第である。

(筆者・神戸市建設局建築課長)

日本貿易産業博覽會建物一覽表

第一(王子)會場之部

建 物 名 稱	規 模	建 坪	設 計 者	施 工 者
切 符 賣 場	新 木、平、モルタル、柿	2.64	山 口 建 築 事 務 所	吉 田 組
入口事務室、案内所	〃 〃	31.10	〃	〃
装 飾 壁、賣 店	〃 〃	67.25	〃	飯 田 工 務 店
迎 賓 館	改新 木、平、銅板及瓦	106.97	神 戸 博 施 設 部	西 口 工 務 店
① 號 館 (序 曲)	新 木、中二階モルタル、柿	164.00	山 口 建 築 事 務 所	田 中 建 設
② 〃 (資 源)	〃 〃	417.50	渡 邊 節 〃	松 浦 工 務 店
③ 〃 (觀 光)	改 煉、平、スレート	106.40	横 河 工 務 所	八 木 組
④ 〃 (世 界)	新 木、中二、漆喰、柿	297.50	東 畑 建 築 事 務 所	竹 中 工 務 店
レストラン休憩所	〃 木、平、板、鉄 板	204.00	曉 〃	清 水 建 設
⑤ 號 館 (生産實演)	〃 〃	209.30	池 邊 研 究 室	大 日 本 土 木
⑥ 號 館 (生 産)	新 鐵 骨、平、鐵 板	1,058.40	置 塩 建 築 事 務 所	山 田 工 務 店
⑦ 〃 (府縣生産)	〃 木、二、モルタル、柿	248.95	丹 下 研 究 室	奥 田 工 務 店
プ ロ ム ナ ー ド	〃 木、	112.0	池 邊 研 究 室	大 日 本 土 木
⑧ 號 館 (交 通)	〃 木、中二、モルタル、柿	213.85	〃	中 山 組
⑨ 〃 (通 商)	〃 木、二、モルタル、柿	92.2	〃	大 日 本 土 木
⑩ 〃 (文 化)	改 煉、三、スレート	365.0	日 本 建 設 産 業	本 多 建 設
⑪ 〃 (文 化)	新 木、平、板、柿	124.9	横 河 工 務 所	飯 田 建 設
野 外 演 藝 場	〃 木、平、板、柿	157.5	山 口 建 築 事 務 所	松 本 建 設
兵 庫 館	〃 木、二、モルタル、柿	〃	兵 庫 縣 營 繕 課	中 島 組
神 鋼 〃	〃 鐵骨、平、アルミ	〃	武 田 建 築 事 務 所	山 田 工 務 店
東 北 〃	〃 木、平、板、鐵板	〃	置 塩 〃	清 水 建 設
九 州 〃	〃 〃	〃	武 田 〃	〃
帝 國 酸 素 館	新 鐵骨、平、アルミ	25.3	帝 國 酸 素	日 米 金 屬
大 阪 〃	〃 木、中二、漆、柿	17.80	日 東 建 裝	日 東 建 裝
奈 良 〃	〃 木、平、板、柿	88.0	奈 良 縣 營 繕 課	谷 井 興 行
日 立 館	〃 〃	22.0	構 藝 社	日 産 土 木
中 日 本 重 工	〃 〃	95.0	文 研	柴 田 工 務 店
栃 木 〃	〃 〃	128.75	栃 木 縣 營 繕 課	清 水 建 設
ウエルビー鉛筆	〃 〃	30.0	長 谷 川 建 築 事 務 所	全
川 崎 〃	〃 〃	60.	川 崎 重 工 營 繕 課	中 島 組
東 京 館	〃 木、中二、漆、柿	157.0	テ バ イ ン 社	〃
日 産 自 動 車	〃 木、平、漆、鐵板	32.0	小 槻 貫 一	日 産 土 木
いすゞ 〃	〃 〃	85.93	武 田 建 築 事 務 所	明 和 工 務 店

神 戸 博 と 建 築 物

河 合 正 一

— 0 —

このMS.を私が書くのは、私の位置から考えて必ずしも適當であるとは考へられないのであるが丹下氏の命によつてその責を果すものである。現在未だ十分な考察と反省の時間をもち得ず従つて文脈も亦粗雑なまゝ御高覧に供さねばならない。以上の理由から以下に述べる總ては皆その文責を私個人が負うものである。ちなみに、私と小槻貫一君とは神戸博の展示を引受けられた新制作派會員丹下健三氏の staff として昨年11月以來現地に常駐した。

— 1 —

小池新二氏によるスケッチに従つて建築物の概略を述べることにする。

建物は總て原則として市に於て終了後小學校に轉用する目的で5間1分スパンのトラスを用いて建てられている。「入口及賣店街」は山口文象建築事務所の設計に基き、飯田工務店(入口廻り)及び吉田組(連續賣店)が施工した。Inletの誘導壁となる賣店裏壁には新制作派の柳原義達、佐藤忠良、舟越保武の三彫刻家によるレリーフが取付けられた。入口外觀構成の arrangement は丹下一小槻に依り我國博覽會の玄關として一つのepochを劃している。出口部分は神戸市建設局の設計である。入口を入つた突當りに噴水及案内壁があるが、此處は最後まで plotplan 上の穴になつてゐた處を大慌てで穴埋した處であつて、池が十分な効果を上げていない。設計は小槻、施工は竹中工務店である。

動線の左手に舊社務所を改増築した「迎賓館」は市建設局の設計、西口工務店の施工に成り他のトントン葺と好對照を示している。

「1 號館序曲」設計は山口文象建築事務所、施工は田中建設工業である。二つの建物を特色あるアーチ型屋根をもつ渡廊下が繋いでいる。この館

の最初の建物は日本の現状分析と改發計畫を經濟安定本部と十數回に互る協議の末構成され、その展示計畫は丹下一淺田一大谷一小槻によつてゐる

「2 號館、資源」設計は渡邊節建築事務所、施工は松浦工務店である。原案は二つの光庭をもつていたのであるが、實施案は並行せる二棟建となり中庭が完全なる dead space となり、其上更に割當てられた展示面積が多かつたために過密な内容となつた事は残念である。この後半は觀光の展示で途中から、「3 號館、瀬戸内海」—改裝設計横河工務所、施工八木組—を廻つて中二階に戻るのであるが、折角の手摺から見渡すと小間割の屋根裏ばかり見えるすさまじい結果になつた。

「4 號館世界館」は東畑謙三建築事務所の設計及び竹中工務店の施工に成る。原設計に於ける折れ曲つた壁面(これは展示空間を内部に構造材によつて決定する意向であつた)は實施案に於いては一つ置きの合せ柱の造る外部裝飾に變形した。然し乍ら、二つの全面ガラス光庭と眞白な建端の高い壁面によつて最も美しい内部空間が創られたこれに比して肝腎の展示—河合擔當—は外國關係出品勧誘の困難さによつて開會實際になつても決らぬ騒ぎで満足な結果は得られなかつた。

この館を出て50米プール(神戸市建設局設計、竹中工務店施工)を廻り盛土上の道に十体の石膏彫像が立並ぶ。作者を列記すると南より「交通」松田尙志(文展・京都)、「通商」山本格二(新制作・京都)、「資源」明田川孝(新制作・東京)、「労働」辻晋堂(院展・京都)、「平和」早川魏一郎(新制作・東京)、「生産」上田曉(二科・大阪)、「技術」淺野孟府(二科・大阪)、「生活」本郷新(新制作・東京)、「文化」村田勝四郎(新制作・東京)、「未來」笠置秀男(二科・東京)の諸氏である。個々の作品についての批評は色々あるであろうが、十体の彫像群としての環境に於ける効果

はその目的を十分果している。台座設計は丹下、施工は萬葉商事工業に依る。

「5 號館、手工場實演場」は池邊陽研究室設計による一連のプロムナードの階下が充てられている。(施工は大日本土木株式會社)見物しているところのパナマ帽子とか茶釜とかの Handcraft が一番面白く他の會場に出品されている機械展示よりも面白いといふのは、我國の技術の精密度というものが一般的には未だこの段階以後近代化されていないことの證であるような氣がして、貿易産業博に於ける皮肉な現象に思われる。

「6 號館、生産」は 77M70×43M29 といふ啓正式トラスの格納庫材を基礎を約 2 米上げて、終了後は室内競技場に充てる目的で建てられたものである。設計は置塩建築事務所、施工は山田工務店である。屋根及側壁はアルミニウム波板張が美しい。内部展示は計畫を河合が擔當した。最初はこの廣い空間の味を上手く出そうと云う考をもつていたのであるが、當局の 4 尺×6 尺という scale の小間を最大限に押込む方針に妥協してしまつた爲に、(450 人 : 300 人が適量であつた) 出来上つてから双方とも不満に陥つた如き失敗の記録である。然し乍ら舊態依然たる裝飾業者のおでこを掲げ看板文字で埋めるバタバタ仕事は何とかなければならぬまい。

「7 號館、府縣生産」は小間數の關係で 6 號館よりはみ出した分であつて、動線を亂す第一原因となつた。設計は丹下、小槻、河合で idea を検討し、河合、小槻で製圖、現場監督は曉建築事務所の柴田實氏に願つた。我々青二才の實施圖面は風雨の吹付ける向如に雨が飛込む狀況を暴露することになつた。

これを出て兵庫館→再び 6 號館という動線はいさゝか觀客の疲勞を無視している。此處からプロムナードに出るとプール、野外劇場を一望出来かゝる空間造成は少くとも從來の我國の博覽會になかつたと云えるであらう。前川國男氏の Original、池邊氏の實施計畫が十分目的を達している巨大な三拱アーチが道路上に架つている。

「8 號館、通商(海運・陸運)」は池邊研究室設計、中山組施工で舊神鋼病院の位置に建つ。展示

業者も一館全部をまかせられると心理的なゆとりも手傳つてか小間割に於けるク背伸び競争クよりはましになる。然し何れにしろその生態を分析すると近代の香は微塵もない。再びプロムナードが続く。

「9 號館、通商(貿易)」も池部研究室設計、大日本土木施工で特徴ある planning を示しているが、雨に悩まされるものの一つである。

「10 號館、文化」は舊關學の煉瓦建の改裝で設計は日本建設産業株式會社、施工は本多建設株式會社である。この上二階を展示室に充てゝいるが戸口が狭い爲通路が極めて窮屈である。

「展示場及映畫館」は横河工務所の設計及飯田建設工業の施工に成る。唯我々若いものにはどうしてもよく呑み込めない氣がしている。

他に「野外劇場」と「レストラン」があり前者は山口文象建築事務所設計、松本建設株式會社施工で原案では眞の野外設備であり、別に屋根のある劇場が計畫されていたのであるが、都合により中途からこの兩者を兼ねるものが要求された爲に「はぐななものになつた。後者は曉建築事務所柴田氏の設計により清水建設が之を施工した。別に「テーマ・センター」があり、中央彫像は新制作派の菊地一雄氏により創られ台座原案を丹下一河合で現状の如き設計に改め、マークを表はす鐵輪の構造計算は京大柵橋研究室の石崎登雄君に依つた施工は萬葉商事工業である。

— 2 —

クテーマク各建物館の途は説明文的 caption で導いたが、慌しい最中に文學面の scale 錯誤をやつてしまつた。ク子供の樂園クもこの感なしとはしない。特設館群については言及を差控えるが、奈良館の要領よさには敵わない。愛知名古屋館は建物展示共現實に naïv で好感がもてる。尤もガラス越のトヨ・ベツトが大いに役割を果しているのかも知れない。所謂クすだれ筋泥クリークは案外 mass の感じを出せるものであることを二、三の館から教へられた。

湊川の會場については敢えて記さない。

— 3 —

この MS は博覽會の建築という題で求められた

ものであるが、實際にtouchしてみると、最早建築は内容を適確に包蔵すべき容器と考えられてから歳久しいにも拘らず、我國の博覧會では未だに神祕的存在であることを發見した。逆に建築の博覧會という批評を耳にした。如何なるものが如何なる形で何個入るのであるかは開期前漸く一月位にならぬと具体化しないのである。其頃小池氏の手もとにあつた1950年のロンドンの Exposition の廣告には1年前から出品の目録が載っているのとよい對比を示している。我々は展示計畫を建てようとして幾度か圖板の前に立ち描くべきものを有てずにいらした。且これを裏付けるものとして展示豫算の欠除を擧げることが出来る。博覧會もその主体は出品物であり本質であるのに、これを設備する費用が豫算面から簡単に無視され、數學的に大きい建築費に含まれているかの如き錯覺に陷るのである。今回も始めはその必要が説かれていたのであるが、當局の理解する處とならず抹消されてしまった。こう云う風になる原因は種々あるが、やはり現在の世情及歴史的な問題を含んでいる。

Factor を限つて建築の面からだけ云えば、現在の官廳的博覧會の理解は大正初年の内國勸業博よりも殆んど發展しておらず、外國で云えば1930年以後の趨勢とは無縁である。そして假設的建築物にはむかない木造と云う材料の制約はあつても、同じことが個々の建物の design について云えよう。今度の場合も一歩でも前進させたいと云う我々の意向と realite との闘争であつた。然し乍ら

大衆と云うものを甘く見てはならない。大衆は質の違いを直觀的に見分け上つた level からは絶対に降らないことに注意すべきである。文化の前進には正攻法しかあり得ない。

我々が出品物を見て最も奇異に感じるのは、貿易産業博々なるものの中に並べられた品物に果してどれだけ buyer がついて來、何處を市場に考えて造られているのかといふ疑問である。激烈な海外市場に於けるアメリカ製品の level、イギリスのその質の上え更に industrial design に関する眞剣な努力をうかゞう時に、嘗て我國の兵器がそうであつた如く、余りにも製作者の意圖が甘すぎる。PX の出品と比べるとそれが fair du sich に展示効果をもっているのに、前者は旗指物を並べて立てゝいる状態である。裝飾業者も出品者の展示効果に対する理解のない點で板ばさみになつてゐることも分るが、出品物自体を最大の効果で展示すると云うやり方は一向に見られない。生産館を見る時、丁度廣告塔の騒音にどやされた様な疲労のみが残るのである。

— 4 —

若し客觀的に云つてこの博覧會に少しでも進歩が見られたならば、その功績は第一に我々に相當の自由度を與えられた當局者の雅量に歸さねばならぬ。現在の我國の現況でこのことは未だ仲々大變なことである。終りに神戸市建築課長野田清三氏を始め御協力を得た各位に深い感謝の念を捧げる。(1950—4—19 神戸にて)

建物クリーニングの店

創業30年 古い信用と新しい技術

古い住宅が新築同様になる美素工事

新築住宅にお手入れのいらいぬ美素工事

} 請負

株式
會社

美素工業所



大阪市東區瓦町(堺筋)三和ビル三階 電話北漢⑤588番

アメリカ博覽會とその企劃

鶴 秀 茂

アメリカ合衆國は1776年に獨立してから僅か175年で今や世界に比べものゝないほど榮えております。しかし、アメリカの豊かな天然資源もアメリカ國民の努力、才能および科學の十分な應用なくしては決して今日の繁榮は考えられません。

1. どんな困難にも打勝ち、これを乗越えて行こうとする開拓精神 1. もの事を凡て能率的、合理的に處理して行こうとする科學思想 1. 多くの人の意見に基き、萬人協力して國家社會の幸福のために盡す民主主義、これらの點を考えに入れてアメリカ博を鑑になり、そして日本復興の参考にして下されば幸いと思います。これがアメリカ博を開くに當つて我らの心積りでありました。

記録の上で、博覽會の最も古いのは、約200年前の1756年に、ロンドンで開かれた勸業博でありました。そこでは織物、農機具、陶器類の製法改良などが紹介されて、非常な興味をそゝり、それ以來博覽會はヨーロッパ各地にぐんぐん流行して参りました。そしてこの博覽會の流行は、1770年から1830年に及ぶ約60年間にわたり機械や技術がどしどし取入れられた。英國産業上の一大變動である産業革命に大きな役割を果たしたといわれております。その後、博覽會はヨーロッパからアメリカ大陸にも流行し、特に資材の豊かなアメリカではふんだんに材料を使つて幾度か素晴らしい博覽會が開かれて來た事は、すでに御承知のとおりであります。また今から、100年前の1851年ロンドンで開かれた大博覽會はヴィクトリヤ女王の夫であるアルバート親王が自ら先頭に立つて準備に當りその時ハイパークに建てられた水晶宮は鐵材40トン、ガラス90萬立方呎も使用したということですが建築家たちで、1851年は偶然に19世紀

を二等分したのではなくて、それはロンドン大博覽會によつて古風な半世紀と斬新な半世紀を區別していると批評していることから推察しましてもこの博覽會が如何に劃期的な内容と規模のものであつたか、伺へると思います。その他1939年のニューヨーク萬國博、1940年のシカゴの「世紀の進歩博」など凡ゆる面で十分効果を上げたといわれて居りますが。

ニューヨーク埠頭に建つ自由の女神、バリの偉景エツフェル塔、ロンドンの水晶宮などが何れも博覽會の記念物である。歴史的事實を思ひます時に、博覽會は人間社會で産業の發達と文化の向上の一里塚であるような氣もいたします。

わが國で最初の博覽會は明治十年の第一回內國勸業博であります。その後今日まで各地に數々の博覽會が開かれてきましたが、經濟力の弱さの故に建物は常にバラック式、内容もお粗末でボテ張り藝術の感あり、従つて世人に博覽會に對する十分の信頼性を與えていないのは、まことに残念であります。

さて今回の朝日新聞社主催によるアメリカ博ですか、これも御承知の時世で萬事不如意の中を強行したものですから意に滿たない點が多く専門の建築家の方々に御覽願うのはいさゝか恥しい氣もいたしますが、しかしこの文の始めに記しましたわれらの心積りのとおり、アメリカの物質的繁榮の爲に流れるもの、或いはその物的繁榮を作り上げたアメリカの精神的な面を十分に學び得て、祖國再建の爲に我國民の心の中に記念塔が打ち建てられてほしいものと念願している次第であります

(筆者・大阪朝日新聞社企画部長)

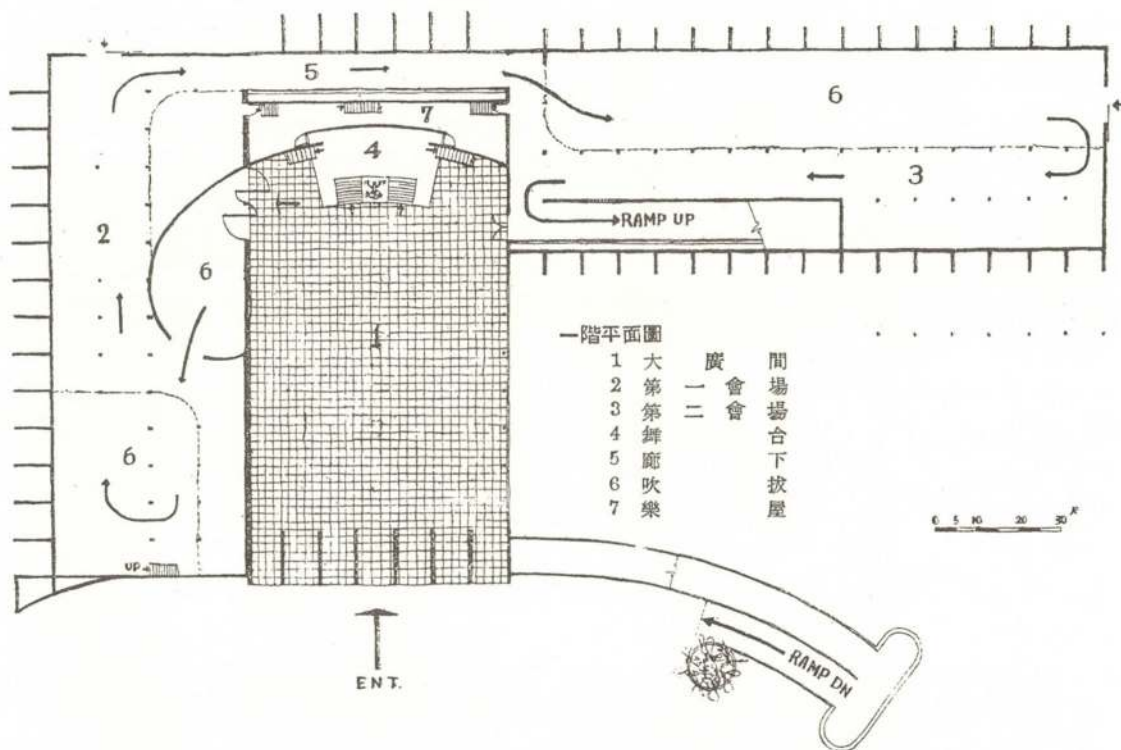


まつた。ファサードのみの建築、それが、今の私には全くたまらなく空虚なのである。

この建築は、はじめ貿易館と稱せられていた。或る日突然、半坪を1単位として300の小間を持つ500坪の貿易館を設計せよと指令を受けた。場所は斯く斯く、博覧會が近く開催される。それだけの条件で、この設計にとりかゝつたのであつた博覧會がどのような主旨で、どのような目的で、どのような構想で、どのようなロケーションでなされるのか、一向知るすべもなかつた。而も明日提出と云う事である。徹夜で仕上げた。それが2度修正されて、最後案が決つたのであるが、その2度も徹夜をしなければならなかつた。その徹夜と徹夜の間には、数日の期間はあつたが、この建築に就いての思考は飛石的に脈絡のないものであつた。いわば一夜づけの思慮である。それが最後まで持ち廻つて完成されなければならなかつたのである。私に與えられた役割は、全く Builder としてだけのもので、わずかな指令を忠實に果す職人的役

割に過ぎなかつた。アメリカ博が、どのようなものであるかと云う事は、開會の後、その全体を見て始めて判つたわけで、私は、私の擔當した建築以外は何等知るよしもなかつたのである。この建築に對する安易性は辯解を許されれば、實は如上の様な有様に基くのである。それにしても、私の、木造建築への追究の不徹底さには深く自省している次第である。

アメリカ博全体を見て、そのロケーションや個々の建築のあり方、全てが無統制で、無思慮で、亂立で、猥雑である。この博覧會の企劃に建築家が参加されていない事は一見して判る。その結果は云うまでもなく、過去の博覧會の繰返しであり、お祭り騒ぎであり、余りに多くのものを雑多に見せつけられて、何一つ見なかつたと云う、極めて索漠たるものでしかない。美しい環境、のびやかな気分、美的興奮といったものは全々與えられない。やたらに歩かされて疲れるばかりである。この點には、たしかに重大な反省がなければならぬ



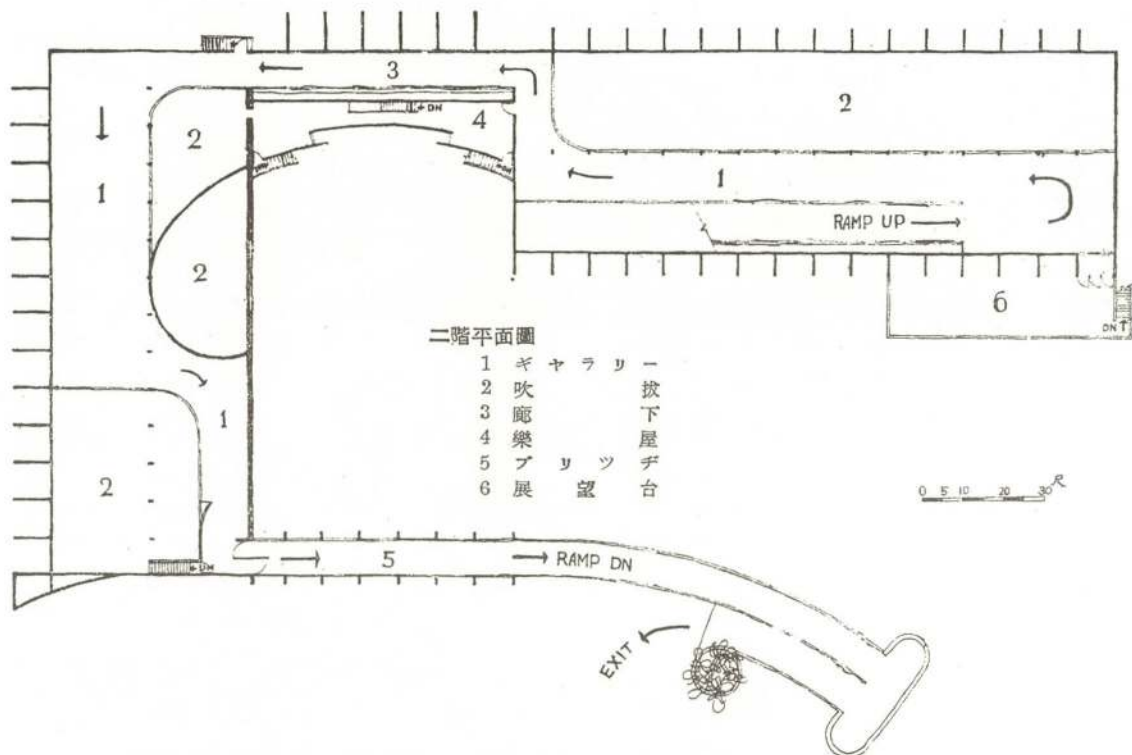
と思う。博覧會と云うものは極めて廣大で、複雑で、時間的に制約があり、高度の能率を必要とするものであるから、その組織力は極めて強力且つ適切なものでなければ成功し難いものとなづける。その組織者の中に、第1級の建築家が是非入つておらない限り、博覧會と云うものが成功するとは思えない。

その配置、環境の構成が決定的な雰圍氣をもたらすものであるから、見物人への楽しさ、のびやかさ、啓蒙、興奮、陶醉への手段が充分建築家に依つてなされなければならぬと思う。博覧會に来て美しい音楽を聴く様な陶醉、興奮が得られないものか、私はそれは可能だと云いきれると思う。博覧會全体が一つのモチーフのもとに統一される事が何よりも肝要なのである。

私はわずかな設計條件を基礎に、この建築をまとめたのであるが、その条件の中に、この建築は會場の最も奥にあるから、正面だけの意匠を考えれば良いと云う一項もあつた。この事にも私は忠實に従つた。然し、奥は、この建物の裏側にすぐ省

線が通つており、省線からは、最も間近に、最も大きい建物がすぐ目の前に見えるのである。この建物の背面は、全くうすぎたない工場の様でしかない。側面も、その通りで、これも、阪急線から展望がきくのである。従つてこの建築は無論、ファサード建築であつてはならなかつたのである。少々経費がかさんでも、省線、阪急の多くの人々から、美しく見せるべきであつた。それは、この博覧會への興奮を誘うものであり、充分な廣告の役割もはたし、且つ環境的にも満足し得ると云う極めて當然な理由があつたのであつた。博覧會建築への輕視が、この博覧會の全ての建築を失敗せしめている。

博覧會建築は、モデル・ハウス意外は、何等かの展示の容器として建てられるのであるが、それが單に、容器だけの役割であり、假設的で良いのであれば、テント張りでも構わないのである。コルビジェの示した1937年パリ萬國博の新時代館はテント張りである。然しこの方が、無思慮な建築よりも、はるかに建築的である。少くとも建築であ

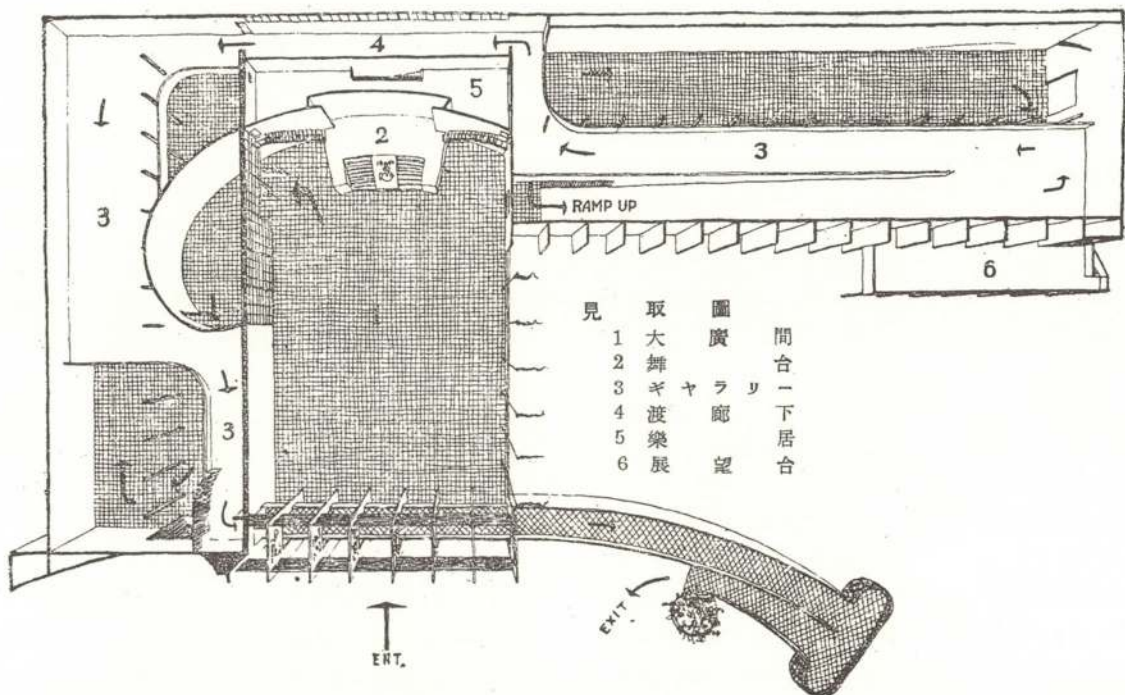


るなら、それが博覧會に於いて見せるものであるなら、この建築はむしろ一つの意見を提出する程一般時よりも注意しなければならぬのが、博覧會建築の性格である。

私の場合、例えば、木造建築としての限界をきわめた「木構造的造形美の表現」と云う課題を選んでも良いのであつた。木造の性質を深慮せず、その限界も考えず、3ヶ月の壽命であるから、無理しても造形的成功は望めるとした私の當初の考えは、建築への忘却以外のものでなく、その意匠的意匠は今や復讐となつて私に空漠感をせまるのである。

内部の展示に關しては、300の小間割主義が嫌で味氣なく思つていた處、この産業ホール企劃擔當者の方が、この小間割主義を反對され、シナリオ的展示と全体の統一を強調されたので、私は大賛成であり、この時は喜んでプランニングの修正をなし動線、視線、空間性、ディスプレイのあり方を考慮に入れたのであるが、その後、伊藤薫朔氏が、内部展示の設計を擔當されたので、内部

に關しては一切手を引く事になつた。然し出來上つたのを拜見すると、スペース、空間、視線、氛圍氣に無理はないかと思われる。種々の事情や障害のあつた事を無視して論ずる事は禮を失するがそれは余りに多くのものを、ぎゅうぎゅうと見せつけられ、又、全体統一のあり方とシナリオは不鮮明になつていられる。300の小間に相當する展示が當初の計畫であつたか、それがずつと増えた由何つたが、これは増えてはいけなかつたのである。ブランクの空間がもつとゆつたりとしなければ、觀客はつかれるばかりである。然し之には、種々事情があつた事と拜察される。この産業ホール全体に關しては、私の場合はお面の化粧屋に過ぎず、建築に於いても、内部展示に於いても、成功はしなかつたと思つてゐる。只内部展示に、たとえ失敗したといえ、シナリオ的展示と全体の統一を目ざして、過去の小間割主義をさけられた企劃者の大いなる努力には、深く敬意を捧げたいと思う。この事は次の博覧會に極めて有意義である。



見 取 圖 間
1 大 舞 廣 台
2 舞 ぎ ヤ ラ 一
3 ギ 波 廊 下
4 樂 展 居
5 展 望 合
6

博覧會は何と云つても、祝祭的意味を持ち、且つ時間的であるのであるから、その建物は、明るく、楽しく、輕快に、美しく、取扱われなければならぬと思う。時間的であると云う事には輕卒な考えを持たない様に注意し、むしろ、その眞を時間的に如何に効果的にするかと云う事を考えるべきだと思う。例えば、Pavilion を輕視する時、それは猥雑なジンタ式建築となり、Pavilion を重視する時、それは實驗的建築となるのである。そうして、博覧會は常に啓蒙的でなければならぬのである。博覧會建築に於いてもそうでなければならぬのである。

(筆者・竹中工務店設計部勤務)

工事概要

設計 竹中工務店設計部
擔當 岩本博行
施工 竹中工務店大阪支店
建築面積 第一階 426.25坪 第二階 221.62坪
計 647.87坪

仕上概要

外装 外 装 柿板4寸5分勾配
屋 根 板貼ベンキ及土壁色漆喰仕上
外 壁 背面、板貼クレオソート

内 装

1 階床コンクリートブロック 2 階床 板張壁及天井 ベニヤ水性ベンキ
その他 ブリツチ床は板張りの上 ルーフィング層 竹ラス張りの上 モルタル目地切仕上

基礎杭 ペデスタル基礎杭

太洋組株式会社

大阪市北区絹笠町堂ビル3階
電話 堀川 ㊤ 1820.951 番

ゴム床材
責任施工

S.Y.印 ヤマトラバーレム ヤマトラバータイル

東京都中央区日本橋馬喰町2-1
株式会社大和ゴム製作所
電話 茅場町 7720・7721
工場 本田・川端・寺島・山形

ア メ リ カ 博 覧 會 歩 る 記

宮 野 守

博覽會といえはすぶの素人が、これまた文章といえは年賀状も書き兼ねる私に突然「アメリカ博覽會について」稿を寄せられたいとの御指示に全く手のつけようもなく惑りぬいてはみたものゝ、提出時間の切迫に身を切られるような思いで原稿用紙の穴埋をやり出した。

昨秋朝日新聞と協力して花薫る今春の博覽會を計劃しだしてからどうして白紙のアメリカ博を着色するか、時には船頭多く舟進まず、再三再度の打合せ會に一として定まらず、新聞社と電鐵會社という大變色彩の違つた特異性を双方存分に發揮してアメリカ博覽會の建設にとりかゝつたのでした。

各關係者の非常な努力で然も大變スピーデイに進捗して行つたことは驚嘆に値ひすることだ。次々に企畫される新しい計畫を限定された西宮球場及外圍の敷地に如何に配置して行くか、博覽會建設工事の第一歩として全くの難問題でした。然しアメリカ博覽會、否アメリカ見學を最も明るく愉しい雰圍氣の中で自由にして頂くため、先づ難かしいことを抜きにして平易に觀る人の側に立つて建設して行つたのでした。諸種の関係上、既設建物の最大利用また建設する主要建物は敷地の都合上すべて之が建設に當る業者に解体及材料の引取りを依頼し、その他すべて敷地外移築移轉を計り會期終了後の一対策と致しました。以上のような結果アメリカ博覽會は建築物としても特に述べるようなものもありませんが、結局スペクトル的な甘さに終つているのでせうか。では一度六萬坪の第一、第二兩會場へ御案内致すことに致しませう

第一會場、先づ賑やかな正門を入つて目につくのは白堊に春の陽を美しく映發するホワイトハウスです。ふり返つて球場本館正面頂上に目を移すと自由女神像が平和と自由を象徴している。ホワ

イトハウスではどうしてアメリカが今日にまでなつたかという政治と歴史を教えて呉れる。自由の新天地を求めてメーフラワー號で歐州から移民したキリスト教徒の一團が血の汗を流して苦難の開拓をはじめることから解説して、原子力の今日までを政治と歴史にどう現われたか説明しています。ホワイトハウスを出て球場本館二階陳列場に通ずる陸橋を進めば、入口には半圓形の大地球正面にはアメリカの地圖が浮きほりされて、いよいよアメリカの胴内に入るわけです。こゝではコロンブスのアメリカ新大陸發見とその當時の模様をジオラマ、パノラマで表現、開拓者の辛苦が語られそれから文化、宗教、科學その他さまざまのアメリカ技術の花が咲きにおつています。四千點にのほるP・Xの豪華出品、百面掛電氣蓄音機、電氣統計器、レーダーなど、アメリカ科學の粹を集めた出品物は驚嘆させずにはおきません。然し各種部門別展示は努力次第では明日の日本もかくやと思わせるモデルルームといわれるでせう。本館を出るとリズムカルなメロディに乗つて野外劇場にさそひ込まれる、音響効果と風致をねらつて舞台と觀客席の間にプールを作り約三千人が樂に收容出来る。こゝでは會期中すべてアメリカものの音楽演劇でプログラムが組まれ、時にはサーカスの演技やまたアメリカに關する講演會も開かれる。周邊にはP・Xの放出品既賣場、美味しいアメリカのドーナツ賣店等も軒を列べ花やかなアメリカ村の様です。順路によつてゆきますと、ノッポのキリンの立つている「銀の鈴」兒童圖書館に参ります。こゝは廣島圖書が建築、展示一切をアメリカ博覽會のため特設したもので數千冊のアメリカ兒童向圖書が解放されるほか、アメリカ式二色刷高速度オフセット印刷機で終日印刷の實演をしています。園内に美しい自動車が見えますが、ブツク

モビルといひ、廣島圖書自慢の出品で一台に圖書三千冊をそなえる移動圖書館である。チューリップの花園を出て赤い屋根の農業館と水耕農場をみる。こゝはアメリカの最新式の農器具による耕作法と、高度の化學作用による水耕農法を紹介している。又我が國でも最近盛んになつてきた4H運動の様子も紹介される。此の建物の東方に第8010鐵道輸送隊の厚意によつて出品されたディーゼル機關車が百米のレールの上を入場者を満載して走っています。そこから右へ廻れば新日本産業ホールです。こゝだけは周囲のアメリカ色からかけ離れた日本國內産業現勢力の紹介所で、特に内部展示は舞台裝置家の伊藤薫氏苦心の構想で、從來の博覽會陳列形式を打ち破つた總合展示を行ひ、今後の博覽會陳列形式の一大革命ともなることとせう。石炭漁業船舶、觀光等一社一社の宣傳でなく日本近代産業全体の發展をねらつての陳列は必ずや參觀者に満足にあたえることとせう。出口のスロープを降りてすぐ圓形の自動車館に入りませうアメリカ各社競作の1950年型新車がズラリと並んだところは全くアツと言はずにはおれません。美しいピカピカ光るスリーシーシング張りのテレビジョン館の入口で屋外舞台のアトラクションをみながら館内に入ると、R・C・Aの新型テレビジョンに美しい映像が浮び出しています。東京芝浦電氣の優秀機も多數出品され早やテレビジョンの時代かと愉しくなつてきます。暗い館内から明るい廣場に出ると、こゝはアメリカ中流階級のモデルハウス街です。竹中工務店、大林組、東亞建築社、日米金屬より非常な好意で無償出品をして頂いて居ります。日頃の各社のアメリカ住宅

研究の程が偲ばれます。一隅に移動住宅トレーラーハウスが見えます。わずか六坪足らずの室内に居間、應接、寢室にも直に變る家具、シャワー、バス、電氣冷蔵庫、レンジ等の設備、なんと便利なこととせう。住宅難の日本には考慮すべき材料ではないでせうか。第一會場を終つてテーマタワーのアーチを通り抜け、鐵筋コンクリート造の縣營アパートを眺めながら第二會場へ。第二會場、入口を入つてすぐ左側に特設の電信、電話局と郵便局があり日米通信網の立体展示があり、郵便、電信の受付もやつてくれるし記念スタンプを押して呉れる。色彩鮮かな賣店を眺めながら博覽會最大の呼び物の一つである野外大パノラマに入る。六千坪のアメリカ大陸を北周りで一巡しよう。入口のゴールデン、ゲイト橋のかゝるサンフランシスコからヨセミテ公園、シカゴ、デトロイト、ナイアガラ瀑布、こゝでは眞ん物の水を落して景觀を添える。ストラト、クルーザーのジュラルミンの巨体には驚くが、この機上の人となつてニューヨークの市街を眺める。ワシントン、テキサス、ミシシッピ河のショーボート、テキサス油田、カウボーイ、ニューメキシコ、テネシーヴァレーのダム、カールスバットの鐘乳洞ランド、キャニオン、ヴァジニア、ハリウッドなど周つて場外に出るとアラスカとなる。各地の名所見物ののち出口正面のハワイ館へ、ハワイ館は舊体育館をそのまゝ利用したので陳列その他不備な點はまぬがれないが、ハワイの文化、産業、歴史、教育等全般に亘つてハワイの紹介にワイキキのエキゾチックな味を満喫して頂くとしています。ハワイ館より飛行機陳列場へ行く途中リンカ

理想的床材料

リノリウム  リノタイル

特製リノリウム糊

東洋リノリウム株式會社

本社・工場 兵庫縣伊丹市伊丹五五八 電話 伊丹1・51・69

大阪事務所 大阪市東區瓦町二丁目三和ビル
電話 北浜 375・376

東京支店 東京都中央區銀座四丁目三和ビル
電話 京橋 1701・2564

ーンの座像の前に立たなければならない。「私は奴隷になることも、その主人になることも好まぬ」とその上に掲げられた言葉を読み、今までみたアメリカのすべての力強いもの、美しいもの、嬉しいもの、明るく健康なものがどうして造り上げられたかを知るためにこの言葉を何度か読み直さなければならない。銀色に光っているヘリコプターとプロペラの無いジェット機をスロープの上下よりながめて次はスカップ・インフオーメーション、センターです。こゝは舊映画館をそのまま利用したもので建物が三つの部門から成り、中央は映画館でC・I・E提供の記録映画、文化映画、教育映画などアメリカ紹介の映画を上映しています。その南隣はC・I・E図書館で自由にあちらの本を読ませています。北隣には米書の賣店が開かれ、タートル、バーキンス、丸善の三社がアメリカの原書を、日本出版協会が翻譯ものを既賣しています。数時間のアメリカ見学で少々つかれた様です一つ廣々としたアメリカ式の小供遊園地リットルコニーアイランドで小供も大人も伸々と遊びふけてみませう。アメリカへ行つたようなスリルとスピードの色々な遊戯器具が所狭しと設けられています。最近タイ國より象の來場も計畫され象舎の建築も進んでいます。五才の小象はコニーアイランドを一そう嬉しいものとして呉れることとせう。この邊でどうやら一日のアメリカ見物も終つた様です。ペプシコーラでも飲んで振り返つてみよう。開場後非常に好評を博しておりますがその成果はまだ未知數だと思つております。

建築 展示、美術、宣傳、經營等その他あらゆる博覽會の諸要素が成立して、はじめて立派な博覽會といえるでせう。アメリカ博を歩いてみて、まだまだ不十分な點ばかり發見しては最後まで改良に心掛けたいと思つています。

末筆ながら、アメリカ博覽會に御盡力下さいました各官廳、工事設計、擔當者の皆々様の御協力に感謝すると共に諸兄各位の今後の御鞭達御指導を切にお願い致します。

(筆者・京阪神急行電鐵株式會社土地經營部長)

相 互 幹 旋

(本欄十二分に御利用下さる様各位に切望)

○求 職

關西工業建築科出身 22才。

○人を求む

30才前後現場係一名竹中工務店勤務及30才前後雑誌編集事務員一名求む至急。

建築材料の販賣外交員を求む、経験不問。

○求 婚

専出21才、25才、26才三名各何れも良家の女容姿体格良、身元確實、父建築關係者、三者共専門程度出身の人物本位の方に嫁ぎたし。

○土地家屋譲渡

- 1、廣島市牛田町早稻田宅地 100 坪、電鐵バス停附近、閑靜なる位置。
- 1、神戸市楠町土地 120 坪、二階建延75坪外に物置、電話、水洗便所、ガス電氣設備あり
- 1、二階建住宅附事務所延22坪並ガレージ向倉庫40坪、大阪驛附近40万位。

○家を求む

大阪一京都間で約50万位の家を求めたい。但し成可大阪寄りの方を望む。

○お茶とお華の稽古幹旋

表流お茶、未生流お華の稽古希望者は男女を不問御申込下さい。稽古場阪急附近、會費廉、懇切教授。

○賣 却

シャツター(チエン巻揚げ)ボックス、シャフト、鐵戸、その他附屬品一式、但しガイドレールなし、數量5組、以上賣却したし。

以上御連絡は本會事務局長宛の事。

建 築 寫 眞



日本建築協會御用命

ユニバース寫眞工藝社

森 庄 次 郎

大阪市南區笠屋町四番地

電話南⑥0240番

博覽會建築と建築家の立場

中 尾 保

博覽會とは何か——「博覽會」という言葉は何時頃から使い出したのか知らないが、多分第1回の内國勸業博覽會が明治の初年に東京不忍池畔で開催された時に始めて使われた言葉だと思う。

Exposition 又は Exhibition の譯語にちがいないが「博覽會」とはうまい言葉である。大きな場合は Exposition で、小さいのは Exhibition 或いは Fair と呼んでいるが、日本では大も小も同様に博覽會と名づけている。語義は「博く観る」即ち「見聞を広める會」というのである。それだけに新しいものを廣く集めた「世界の縮圖」でなければならぬ。そうすると非常な大規模のものになる。そこで専門的に一つの部門を選んで「何々博覽會」例えば「科學博覽會」「貿易博」「復興博」「アメリカ博」といつたように範圍を決めて、その中で見聞を広めるというようにしている。然し實際は啓發的な或いは啓蒙的な内容を持つものはきわめて少く、何の博覽會も名稱こそちがえ同じようなことをしているが、これはよくないことだ。

博覽會の建築——しかし博覽會は何處までも次の時代を暗示と興える性格を持つべきものであるから、これを盛る器である建築も常に一步も二歩も進んだものでなければならぬ。

博覽會の建築には(1)既製の建物を借りてその中を使うもの(2)恒久的な建物を建て、後にこれを残して使用するもの(3)假設建築(ハリボテ)の三通りあるが、通常(3)を指して所謂「博覽會建築」と呼んでいる。そこで(2)の場合も勿論新しい様式でなければならぬが、これは記念物を退いては何れも現實的であることは必要であるが、(3)の場合は非現實的でも何でもかまわない、いろいろなことを試みるべきである。思い切つた夢を描いてもよい。それが次代の建築家の暗示になるのである。たゞ徒らに「奇を好む」では困るが何かその中にイットがあればよい。アール・ヌーボー(Art Nouveau)はバリの博覽會で氣煙を舉

げた。アール・ヌーボーの建築的イデオロギーが假令まちがつていたにしても、18世紀以來大量生産の出來た鐵を建築に使用し始めたこと、舊様式を打破したことは建築界に大いに貢献したと云い得るのである。Secession また然りである。

上野の不忍池畔で開かれた大正博は間違つたセセッションを日本に紹介したが、大正11年の平和博は分離派の人達の手によつて正しいセセッションが日本に紹介された。これがまた日本の建築界に興えたセンセーションは大きなものであつた。何でも彼でもRenaissanceでなければ建築でないように考えていた建築界を啓蒙したのである。その様に博覽會の建築というものの意義は可なり重大であることを忘れてはならぬ。

今後への希望——今後、博覽會が開催される時は若き建築家を動員して適當な方法で技を競わしめるようにしてもらいたい。青年建築家は思う存分腕を振ることの出来るチャンスを興えてやつてほしい。1館づゝ競争さすのも面白からう。或いは懸賞募集にすることもよからう。10數名を選抜して之に指名するのもよい。そして多くの先輩はこれを批評し天下に公表してやらねばならぬ。そうすれば一般社會も建築に興味を持つてくることと思う。それには今のようなケチケチした博覽會では面白くない。一体博覽會というものは大規模であるべきであつてほしい。明治36年に大阪で第5回の内國勸業博覽會が開催されたが、この種の大博覽會はその後跡を絶つてしまつたのが何うしたことかと思つている。毎年春になるとあつちにもこつちにも博覽會が出來て客引競争のようなことをするのは何うかと思う。それよりも一つに集中して他はみなこれに應援する氣持ちになれば相當まとまつたものは出来る筈である。これからは博覽會を主催せんとする團體は、豫め協定して一つのものにするとする大きな見地に立つてもらい度いものだ。(筆者・毎日新聞建築顧問、近畿大學講師)

米 國、コ ネ ク チ カ ッ ト 州 に 於 ける 「都 市 計 劃 法 指 針」の 刊 行 に 就 いて

The American City 誌 1949年9月號より

連合軍總司令部民間情報教育局提供

(大意) 米國、コネクチカット州では、州開發委員會が、州内の各自治團體や、各種計畫委員會が担当計畫している都市計畫や、地域制計畫の爲に、必要な技術的指導書を刊行したが、その題目として、重點的にどんな問題を探り上げるべきかを定める爲、輿論調査の型式によつて、関係者の聲を集計した。之によつて各種計畫の直接担当者が、どの様な問題に最も多くの興味と、關心を持つてゐるかを推定する一つの資料を得た。

(本文)

コネクチカット州には、169の獨立した自治体(市町村)があつて、その人口は全体の85%に及んでいる。その自治体の中で、一般都市計畫委員會を組織しているものが51、地域制計畫委員會及地域制に関する訴願委員會組織を持つてゐるものが93であるが、直接その計畫立案の関係者は、1,400人近くもある。従來此等関係者が直接計畫に當る際、逢着する種々の問題の技術的な取扱方に關して、適當な指導が得られなかつた爲、いろいろ不都合を生じる事が相當多かつた。その爲、州開發委員會の計畫技術者達は、此種不都合を除く爲、次の様な方法を採用した。

先づ第1は、此種の問題に逢着している、各地方のグループと直接連絡して、個々にその問題の性質を検討しいろいろな助言を與える方法である。然し、此の方法で州全域に散在する各地の希望者全部に、指導の徹底を期するには、時間的に、亦經濟的にも、非常に不利であるそこで州開發委員會では、簡潔な形式の計畫案内を、シリーズ風に編集して、一般に配布する方法を採つた。此の指導書には、一般都市計畫や、地域制計畫に關する一般的な説明から、その方法、技術的な處理法に至るまで逐次、詳細に説明される豫定で、最初は、各州に於ける一般都市計畫や地域制計畫に關する法規の紹介から始められ、續いて、土地利用の方法、地域制に關する訴願委員會の爲に必要な一般法規、取締規定の立案法等が發表された。然し、こうして指導書の刊行が續けられるにつれて、その題目の選定に、相當注意する必要が感ぜられ

始めた。それは、選定した題目が、此の指導書を読む人達の當面の問題に、直接関連を持つており、直ちに利用されなければ、意味がないからである。そのためには、此等多數の意見を集めて、その傾向を捉える必要がある

意見調査票は、此の様な目的のために作られ、一般都市計畫委員會、地域制計畫委員會、訴願委員會、建物検査官、市町村の技術官及び市町村の行政担当者等の全員に對して配布された。解答は票中に並べられた次の各項目中から、各々重要と思はれるものを、順次マークすれば良い様になつてゐる。

(調査表の内容)

人口分布、人口の組成、人口の増加、地方經濟の組立て方、マスタープランニングの理論と實際、主街路の設計、副街路の設計、公共交通路、交通用運河開發計畫、市街以外の道路附設、曲り道、駐車場、市街地の照明、諸施設、更生施設の適當な配置、公園及遊戯場の配置、小遊戯場の設計、長期に亘る資源開發計畫、一般休養施設、レクリエーション施設、公共學校の位置選定、學校用敷地の設計、圖書館、保安、衛生、隣保用市場(マーケット)、小都市のシビックセンター、徹底長期に亘る土地利用法、地域制の區分法、田舎の地域區分、エヤーボート(空港)の計畫、建築法規、土地細分の計畫、土地細分の規定、一般計畫委員會の組織とその活動、地域制計畫委員會のその活動

調査票の解答率は85%であつた。解答の性格は解答者の種類によつて、その傾向を異にするから、別表の様な分類法によつて整理された。即ち、解答者を其性格によつて分類して解答者の各々について、各項目の輕重、順序を決定した。こうして整理されたものを觀察することによつて、種々の興味ある事實を探り出すことが出來た

例えば、「一般都市計畫や地域制計畫を扱う委員會の組織や實際の構成を強化する方法」には、全項目中最も多くの興味がかけられてゐる様である。又「マスタープランニングの理論と實際」の項は、大都市の代表者によつて一位に、中都市の代表者によつて7位、小都市の代

表者には全然マークされていない。然し、之等の平均を取ると5位となり、一般的に相当な関心が示されており都市の発展に必要欠くことの出来ない此の問題への意欲を感じられることは誠に頼もしい事である。特に大都市の代表者によつて第1位に挙げられた事は当然の事である。「シビツク・センター」と「公共学校の配置」は、全解答の平均では、さほど重要でない様であるが、中都市の代表者や一般計画委員会には、各々かなり大きな関係を持つてゐることを示している。「地域制の区分法」

や「田舎の地域制計画」の様な、特殊な問題に對して、意外に投票の多いということは、此のような基礎的な題目を理解しようとする熱意の表れに外ならない。「徹底的な土地利用計画」や「長期資源開發計画」は、一般に非常に理解されていない様である。前者は、「マスタープランニング」と同程度に重要なものであり、後者は、社會の將來の發展の爲に、特に主要な要素となるものであつて、此點に一つの課題が残されたわけである。

この様に輿論調査の結果は、いろいろ新しい問題を

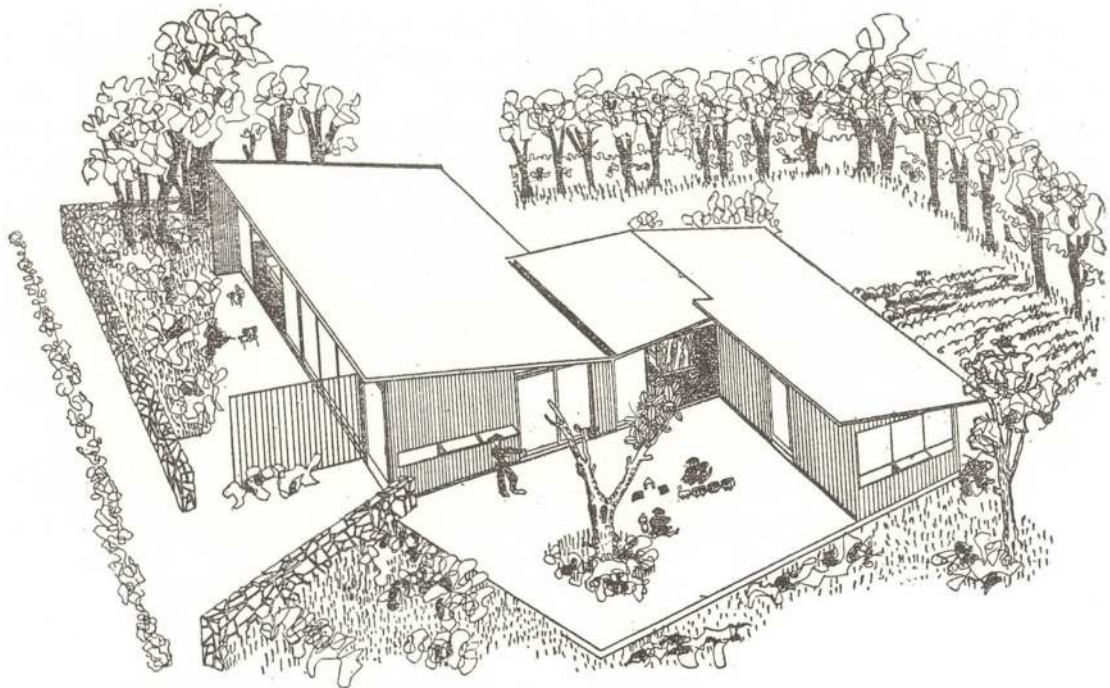
別 表

輿 論 調 査 集 計 表

(一般計画及地域制計画の諸問題の重要さに就いて)

題 目	全体の 平均値	自 治 体 (市町村)			専 門 委 員 會		
		大	中	小	一般都市 計 画	地域制 計 劃	訴 願 委員會
地域制区分法	1 st	4 th	4 th	3 rd	—	1 st	3 rd
地域制計画委員会の組織とその活動	2 nd	5 th	3 rd	4 th	6 th	1 st	4 th
田舎の用途地域區劃法	3 rd	5 th	4 th	1 st	5 th	2 nd	1 st
一般都市計画委員会の組織とその活動	4 th	4 th	2 nd	—	1 st	4 rh	—
マスタープランニングの理論と實際	5 th	1 st	7 th	—	3 rd	5 th	5 th
土地細分の規定	6 th	2 nd	3 rd	—	3 rd	6 th	6 th
小都市の建築規定	7 th	—	2 nd	2 nd	—	3 rd	2 nd
土地細分の計画	—	3 rd	—	7 th	4 th	—	5 th
シビツクセンター	—	—	1 st	5 th	5 th	4 th	6 th
保 安、衛 生	—	—	—	6 th	—	5 th	5 th
隣保用市場 (マーケット)	—	—	6 th	—	7 th	7 th	6 th
公共学校の位置選定	—	—	5 th	—	2 nd	—	—
徹底的な土地使用法	—	7 th	—	—	6 th	—	—
レクリエーションセンター	—	—	7 th	—	—	—	6 th
更生施設の適当な配置	—	6 th	—	—	—	—	—
副街路の設計	—	—	—	—	—	—	7 th
街路の照明	—	—	—	—	—	—	7 th
長期資源開發計画	—	—	—	—	7 th	—	—

提供したが、將來の方針を定める意味に於いて、極めて有用であつたと考えられる。亦、自治体發展計画の將來は、かゝつて計画担当者、大局的な廣い視野、手腕、才能等によるものであることを痛感させられたのである (翻譯・株式會社大林組研究部 橋本生)



入選・1・透視圖

「伸びる家」の審査評

中野 順次郎

「伸びる家」となると、何か特別の住宅の如く考えられたかも知れぬが、現在の事情に於いては最も実現しやすい住宅計画の在り方でなければならぬまいと思う。

募集の主旨を其處に置いて、従つて審査も、このねらいに於いて行われたのは當然である。結果に於いて、応募数123通は必ずしも多くなかつたが、作品中には、第一期、第二期、第三期と、詳細な伸びる計画があり、その伸び方にも各種の工夫を提案されてあつて、今日の住宅設計資料として、参考とすべきものの多かつたことは悦ばしい次第である。

入選圖案についての審査評は、既に出版された「伸びる家と住まい方」の冊子の方に夫々附け加えてあるが、更に一般的の傾向について二つ三つ拾つてみると、

第一期の家は殆んど椅子式居間本位であつた。第二期に伸びて、子供、両親の寢室が独立して

増築され、これがまた大体寢台の形式で、疊敷の室に計畫したものは極く僅かであつた。

この提案によつて、必ずしもアメリカ風の生活を営みたいというのではなく、何とか住まいを能率化したいという意志が充分に伺えると思う。

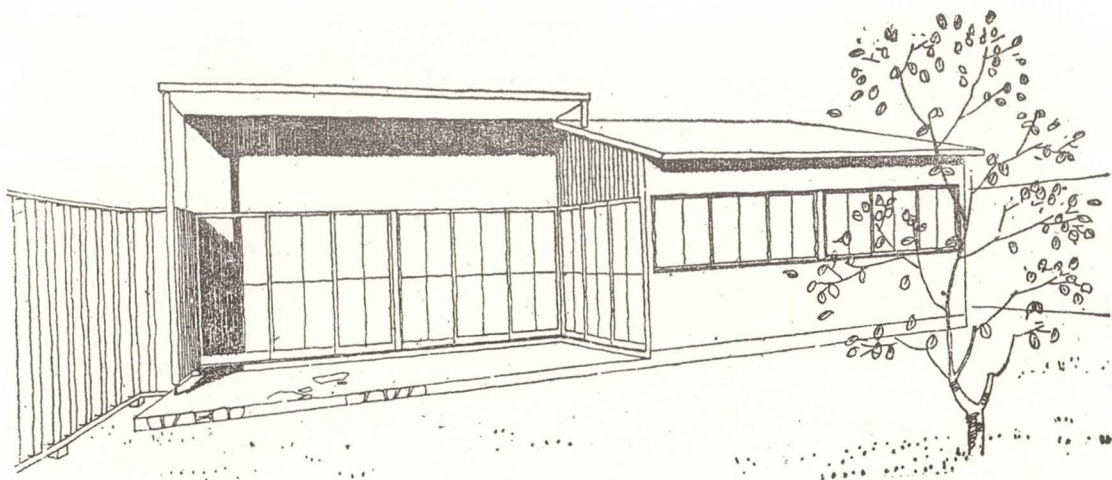
日本の今迄に於ける住宅が欠點としたいところを取り除くために、椅子式の生活が壓倒的に多く支持されている。この傾向は極めて自然であり、異論のないところではあるまいか。

併し具体的に圖案についてみると、椅子式において、起りうる不便さについての検討は未だ充分でないようである。

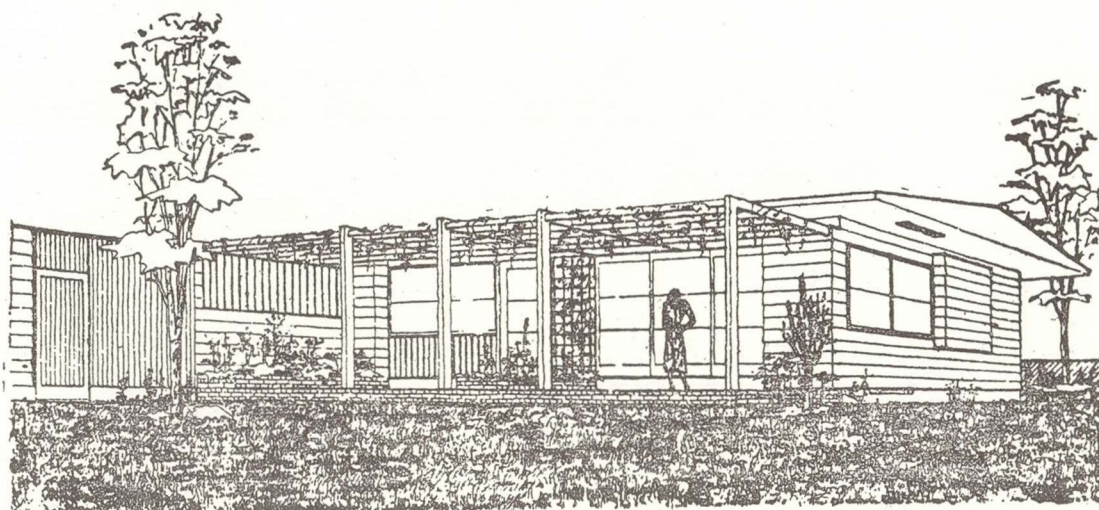
例えば、手際よく整理する物品の収納或いは宿泊人数が臨時に増した時の対象、更に今迄疊の上で自由自在に行われた仕事、休息等がことごとく椅子式の設備によつて行い得るかどうかの検討。

このような事柄は、これからの生活に於いて順次解決するとしても、もし対策にぬかりがあるとそのために再び疊えの郷愁が起りはしないかと思われる。

特に審査の後に残されたこの氣持を述べておきたいのである。



入選・2・透視圖



入選・1・透視圖

入選・3・透視圖

強くて優雅な

リグノイド床

デッキス
フローリング
気光式通風器



責任施工

田辺工業有限會社

大阪市面区江戸堀上通一丁目五
電話土佐堀(44)2677

和洋屋根瓦及防水工事

施工請負

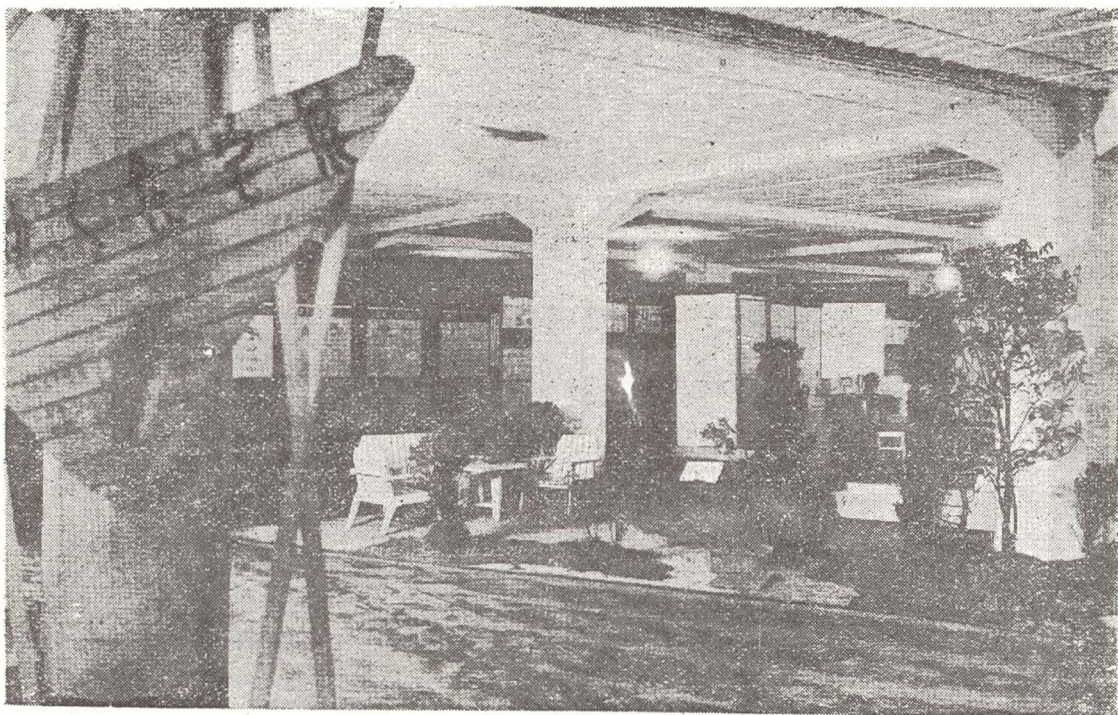
兵庫縣瓦工事有限會社

代表取締役 成川 辨一

芦屋市榮平町二五 電話芦屋2306番

夜間専用 御影 3857番

阪神間優良瓦業者



「伸びる家」の展覧會について

主催 日本建築協會

自 4月25日～30日 於大丸百貨店

本年度の展覧會は昨年の展覧會に續く第二回展覧會として「伸びる家」の應募作品展示に加えて住まい方の解説を試み、更に住宅金融公庫の説明を含めたものであつた。

会場展示はすべて大丸百貨店にお願いして、昨年同様格別な協力を得たことは感謝に堪えない。展覧會の効果については各方面からの高評を受けたのであるが、さてこの催しを主催者側に立つてみると種々な反省がある。

○小住宅實物平面の展示

住まい方を指導する意味で約十坪の住宅平面の展示であつたが、壁や窓が不明瞭であつたせいか觀覽者にはよくのみこめない容子であつた。

○應募作品の展示

伸びる家の意味が理解されていなかったらしく、一つの設計圖に第一期、第二期の間取りがあつて、理解に困っている觀覽者が相當見受けられた。

○住まい方の解説

簡單でわかりはよかつた。この説明をもう少し多くしたら展覧會としての効果は更によかつたのではないか。

○金融公庫の解説

時節柄非常に注意され、恰も會場の中心點の觀があつた。

○圖集と住まい方の冊子販賣

展覧場でパンフレットを賣ることは昨年の展覧會で考えられた方法で、今回これを実施してみたが、家を建てたい希望者の多いためか相當部數が出た様である。

○講演會

金融公庫と住まい方に関する講演會を開いてみた。昨年に比較して非常な盛會となり、聽講者からも種々の質問があり有意義であつたと思う。要するに題目ととり方が成功するのではあるまいか。

全体を通じて昨年限興味本位でなかつたから、觀榮えのしない展覧會であつたと思う。矢張實物住宅を展示して、具体的な實例による啓蒙によらない限り、展覧効果についての期待がもてないようである。

(「伸びる家」展覧會委員會委員長 中野順次郎)

建 材 工 業 界 當 面 の 問 題

伊 藤 憲 太 郎

一、建材工業生産の上昇

終戦以來の混亂も4年を経た今日では、大体落着いて來て、殊に生産については昭和7—11年基準鑛工業生産指數（SCA P發表による）を見るに、昭和24年9月には78.4%に達する状態にあり従つて資材統制も急激に解除されつつある。これを基礎物資について見ると、概略第1表の如くであつて、

第1表

資 材 名	單位	昭和24年度 生産見込	昭和25年度 生産計畫
石 炭	吨	39,000,000	40,000,000
普通鋼 材	吨	2,100,000	2,650,000
セメント	吨	3,350,000	4,200,000
電 力	4 KWH	33,737,648	34,007,000

生産は何れも順調であり、昭和25年度生産計畫も有効需要の存する限り達成可能である。

上の資材は建材製品の原材料であるから、この様な状態は建材工業界に好影響を與え、建材生産が原材料面から制約されるという事情は殆んど解した。現在の處不足している原材料は、石油製品消油脂の一部、鋼材の内薄板類及び石棉であつてセメントの如きは逆にセメント瓦、厚型スレート等セメント製品部門が、セメントの有効需要喚起の意味で重要な対象となるに至つた。第2表は主要な建材製品の昭和23年度生産実績と25年度生産計畫を表示したものである。25年度生産計畫は生産面からは何れも可能な量であつてこの達成は需要面からの制約を除いては困難なことではない。25年度計畫と23年の実績を對比すればその生産の上昇の目覺ましいことが注目される。

第2表 主要建材製品の生産の向上

品 目	單位	23年度 生産実績	25年度 生産計畫
薄 板	吨	236,655	不 詳
亜 鉛 鐵 板	〃	51,759	300,000
釘	〃	60,118	115,000
普通鋼 々 材	〃	1,230,387	2,500,000
セメント	〃	2,141,000	4,200,000
板 ガ ラ ス	箱	1,897,598	3,600,000
砂 利 類	吨	8,355,800	9,500,000
石 材	〃	4,302,876	7,500,000
煉 瓦	個	125,800,632	152,267,000
粘 土 瓦	枚	264,179,000	360,000,000
セメント瓦	坪	3,829,673	4,000,000
厚型スレート	〃	783,560	1,400,000
石棉スレート	〃	1,669,832	1,400,000
ルーフィング類	卷	548,000	1,400,000
造 作 金 物	吨	16,197	19,200
テ ッ ク ス	坪	1,258,293	1,300,000
リノリウム	碼	92,864	312,000
疊	帖	11,620,000	18,500,000
防火 防火塗料	吨	—	305
耐火 材料	吨	5,198	4,800
耐 料	〃	1,795	3,200
新材 硬質纖維板	坪	110,000	360,000
傾 瓦	枚	3,829,670	2,400,000
向 料	〃	638,330	1,600,000
岩 綿	〃	6,218	10,560
保溫 保命 工事	坪	62,314	110,440

二、建材工業當面の問題

然らば建材工業界は資材面からの制約の緩和によつて、生産の上昇となり、企業的に問題がないかと云えば決して左様なことはなく、むしろ企業の困難は増加すると共にその性質が深刻なものとなつて來ている。

その第一の點は「物造をれば賣れた」嘗つての状態から「造つても賣れない」という状態、即ち賣手市場から買手市場になつたということである従つて需要の減退殊に昭和24年度はドツヂ・ライ

ンの健全財政によつて建設事業が抑制されたこと一般民間に於いても経済安定策の強行に伴い事業の引締めを行つたことにより、建設業界の不振となり、惹いて建設材料の賣行不振となつた。このことは有効需要の確保を必要とするに至り、全般的に業界の競争を激化し、信用ある製品を廉價に賣込むということが重要となつた。

第二には金融面の困難であつて、需要者側に於ける經營上の困難は、支拂の遅延と焦付きを生じ運轉資金の回轉率を小にすると共に、つなぎ金融の額を増大することとなつた。一方金融機關はこの状態を反映して貸出を手控えると共に、一方金融機關の側に於いても、日銀が國債買上によつて行つて來たマーケット・オペレーションによる融資操作も最早限界に達した感があり、見返資金による金融もはかばかしくない状態である。建材企業は一部を除いて中小企業に屬するが、中小企業向け金融はその内でも最も困難な部類に屬しているのである。販賣競争の激化は品質と價格による競争となりこのためには企業内容の合理化を必要とし、この合理化のためには更にその資金が必要であるが、これは設備資金であり従つて長期貸出となるので運轉資金にも増してこの方面の金融せより一層困難である。

このため、(イ)運輸資金については日銀より興銀勸銀、商工中金に對する中小企業資金枠の擴張(25年1月現在37億圓を近く40億圓に)がある。

(ロ)設備資金に付いては本年一月より毎月1億圓の見返資金を市中銀行に放出し、これに市中銀行の同額負擔を加へ合計毎日2億圓の供給を圖つてゐる。然し乍ら、貸出は何としても信用の問題であるから、企業各自に於いて、經營内容の堅實を圖り、金融機關に對する明快な説明と理解を得られる様常に準備を怠たらぬことが必要であり、且つ確實な需要先を確保して行く必要がある。

第三には品質の向上であつて、國內需要に於いて優秀品が逐次確實な地盤を取戻し始めた點にこの顯著な傾向が看取される。輸出面に於いては海外各國の製品と競争することとなるので、これらに對し遅れを取らぬ様技術的向上を進めて行かねばならない。

三、昭和二十五年に於ける建材製品の需要

昭和24年は前述の様に建設事業が抑制され23年度迄活潑であつた。進駐軍用建設工事も大いに減少した。又輸出についても24年に入つて、ボンド切下げ、日英協定の難行等の悪条件も重なり、中期に於いて極端な低下を示し、其後ギリギリと上昇はしているが、概括して不振であつた。

昭和25年はこれに比べると好条件が多い。

第一に、國內需要が上昇する。國庫財政の公共事業費は昭和24年度500億圓であつたものが、25年度970億圓となり、この數字面では一應8割4分増であるが、これには災害復旧費の地方費負擔分を25年度からは大部分國庫負擔としているので公共事業費は國費負擔及地方費負擔分を含めて24年度958億圓に對し、25年度1239億圓即3割増(但し災害復舊豫備費24年度85億、25年度100億を除く)となる。

第二に進駐軍住宅の4,000戸の建設が本年より2ヶ年計畫を以て着手されるというニュースがある。國會の答辭に依れば、進駐軍住宅建設公社が新たに設立され、53億圓の見返資金を資本として本年2,000戸が着手される。建設された住宅は公社即ち日本の所有となり、毎年の家賃に依つて償却されてゆくということである。1戸を30坪、坪當りを4萬圓と見ても24億圓の建設費が放出されることとなる。

第三には沖縄の建設であつて、その具体的内容は不明であるが、新聞に見られる點丈でも2億ドルと稱され、3千萬乃至4千萬ドルの建設材料が日本國內で調達されると推察される。これは全く輸出扱いになるから日本經濟にとつて大きいプラスとなるわけである。

第四には輸出の増加見越しが挙げられる。昨年6月改訂の日英協定は昨年末の帳尻に於いて日本側の2,000万ボンドの入超であり、協定の定める處に従えば今後25年6月迄にスターリング地域は1,000万ボンドを英側に於いて購入することとなる。英側のドル不足、思切つた耐乏生活の採用により必ずしも輸出見越しが明るいとは云えないが期待すべきものの一つである。又米國が未開發地援助資金を東南亞細亞に流そうとする氣運もあり、

これらの地域は、戦時、戦後の荒廢により多くの建設に対する潜在需要を有すると推察されるから、台、鮮、佛印、泰等の地域に対する輸出振興が考えられる。その他中南米、北歐、又は米本國向け輸出も昨今伸びて來た面もある。民間貿易の採用通商協定の擴大、海外通商事務所の開設許可、邦人の海外渡航の枠の擴張等着々と自主的貿易の先行の明るさは増している。本年は國際事情の推移を注視し乍ら建材輸出の振興に一段の努力を拂うべきであり又振う價值のある年となるであろう。

第五には外資提携によるビル建築が漸く軌道に乗り始め、本年よりは太いに活發化することが豫想される。東京日比谷に着工の日活國際會館を始めとして、東京に於いても尙二、三の計畫が傳えられ、何れも鐵筋コンクリート造の本格的建築であるので建築材料の優秀品が要求される點は、將來の輸出を見越して心強いものがある。

第六には國內に於いても本格的な耐火構造の大建築が着工され出したことで、目下の處でも前記の外資提携による建築と加えて設計の出來上つてゐるものは十指を越えようとしてゐる。東京驛八重洲口の鐵鋼會館の如く既に基礎工事に着工中のものもあり、その他市中でも諸所に歩道上に普通の現場小屋を設けて敷地圍いをしているのを見掛けるようになってきた。

第七には運輸省は見返資金使用により東京、大阪、神戸、名古屋、奈良、志摩、廣島、門司合計八つの觀光ホテル新設の計畫を樹て、24年度9,000万圓、25年度3億圓の事業として、安本に提出したという＝ユースがある。果して計畫通り進むか否かは豫測出來ないけれども明るい＝ユースの一つである。

第八には待望の住宅金融公庫の發足がある。法案は國會に提出の段取にあり、政府資金50億圓の外に見返資金100億を追加と決定しているから、本國會の通過は間違ひなく、本年5月頃よりはこの公庫の運用により全國に80,000戸の住宅が建設されることとなる。

第九に以上の外に本國會に提出豫定の建築基準法案によれば、耐火構造規定が大巾に擴張され、興行場、公會堂、病院等の特殊建築についての耐火構造の強制度が高まつて來る。これは長い間建築界の要望であつたものが、漸く法案の形となつて現れたものであつて、尙不充分の感はあるとし

ても一步を進めたことは同慶の次第である。勿論法規のみを以てその實現を期待することは無理であつて、一般民衆の負擔度が問題となる性質のものであるが、相當の本格的建築材料の需要増加となつてくることが考えられる。

第一〇、以上の外電源開發工事、鐵道工事等に對しては、既に24年度に於いて取出許可となつてゐるが25年度に於いても繼續實施される性質のものである。

さてこれらの推定需要の總額をいくらと見るかは、個々の豫算額から加算して求める外はないがその數字は尙未決定のものもあり算術的に求め難い。全國建設業協會の古茂田事務局長が發表された數字として、25年度官民建設投資額を2,310億圓、これを土木、建築夫々半分宛の1,155億圓と擧げられる。建設材料費を假りに土木3割、建築5割とすれば合計924億圓の國內需要が生ずることとなる。輸出、進駐軍住宅はこの外になるからもつと數字は多きくなるわけである。

四、結語

需要面を列擧するあまりに、樂觀的にすぎる記述を取ってしまったが、右の需要が實際に動き出して來るのは早くても5、6月、本格的に成るのは25年度下半期である。それ迄に國內の一般經濟事情が安定期の苦痛を如何に處理して行くかということ、世界狀勢特に米ソ間の平衡が如何なる形になつてゆくかが、重要な要素となることを忘れてはならない。

國內經濟は合理化の推進と共に高度に資本主義化して行き、従つて中小企業に強い打撃が加えられるであろう。この荊の道を切抜けるには、當然のこと乍ら經營の合理化と品質の向上が必要となり、その爲には確實な需要の確保、惹いては販賣組織の検討が必要であろう。

更に又、建設業界が建設業法の施行以來、對需要者との請負契約の刷新、双務的契約の履行という面に向つて一丸として動いてゐることを意味をよく玩味しなければならぬ。合理的な請負契約によつて、材料の購入も合理的になつて來ることが要望されるが、材料業者も建設運營の重要な要素であり、且つ全体を綜合して見れば業者數10万従業員40万を超えるという大集團産業を形成してゐることを充分認識して、對社會的にも、又對建設業的にも自覺ある自主性を持つて進んで行くことが必要である。我國建設の進歩發展にはこの様な立場に立つて、建設設計者、建設業者、建材業者の3者が提携して共存共榮を計ることが夫々の産業を大きくする上に於いて欠く可からざることと考えるのである。(昭和25年3月2日記)

(筆者・通商産業省建材課長)

螢光灯に就いて

理學博士 淺田常三郎

本記は4月17日朝日電子工業株式會社で催された特別見學の際、同社顧問淺田博士が口演された要旨である。螢光灯が時代の尖端を行くものとして我國に於いても其普及が盛ならんとする時、本摘録は参考の一端になるものと思われる。(本文責記者)

米國に於ける螢光灯の普及はすばらしいものであるが、あちらの電氣料はそんなに安くはないので、一面電力の節約と云う面がかなり響いていると思われる。

日本でも料金の値上げが飛躍的につた今日、螢光灯が單なる裝飾的な意味ばかりでなく經濟的にも意義を持つ様になつてゐる。

アメリカの製産は確かでないが、1948年の販賣数は凡年7,940万、日本では目下凡72万、白熱はアメリカ年85,000万、日本約12,000万、料金螢光灯75セント、日本凡500—、白熱13セント、日本凡50—と云ふ程度である。次に、螢光灯の利点は……

(イ)近代建築の照明は光の色彩が日光に似ていて氣持の良いこと、熱が少いこと、輝度が低いこと(目に幻惑感や興えぬこと)それから大きな窓から太陽光線が差し込む様に広い部分より光が出て投影が少い事と言つた特性を要求されるが、螢光灯は斯かる要求を充たしていると言えるであらう。

(ロ)効率の点でも、普通電球1ワット當り10ルーメン(光束、ルーメンとは光の量を表す單位)に對し、螢光灯は約30ルーメンであるから同一設備で約3倍の明るさになる。普通電球のままで三倍の明るさにする爲には配線を太くし、變壓器を大きくしなくてはならないが、螢光灯に代えれば配線その他もとのままで三倍の明るさになり、併も電氣代金は變りはない。

(ハ)任意の色が出る。螢光塗料の種類により太陽光線と同一色調の螢光色を始めとし白色、暖白色、空色(青白色)、緑色、桃色等任意の色が得られる。

螢光色(Day light)は繪画、染料、織物等の色彩を太陽光線下と同じ様に見させることが出来、色付螢光灯は飲食店、娛樂場等で用いられて大變効果的である。

螢光灯の壽命と点滅方式

螢光灯の壽命は點滅により短くなる。1回の點滅により3時間乃至5時間の壽命が縮まると言はれるから余り點滅を頻繁にしない方がよい。アメリカ製品は、3時間に一回點滅の程度で約3,500時間の壽命と言はれる。點滅方式としては從來一般にグロースイッチ型が使用されている。卓上スタンド用にはグロースイッチを使用せず押ボタン式である。尚グロー型も押ボタン型も共に点灯迄數秒を要するがスイッチを入れると即時に点灯する方式もある。但し之は少し高價となる様だ。

螢光灯の種類

日本では40、20、17、15、10ワットの各種がある。尚螢光灯は放電がHot start, Hot runningの型を言うのであるが、之と似たものだがCold start, Hot running型はスリムラインと呼ばれ、又ネオン管の内壁

に螢光塗料を塗つた型は螢光サインと言われる。

螢光灯の欠点

次に螢光灯の欠點を列挙するが、何れの欠點も之から述べる様に之を防止する事が可能である。

(イ)ちらつき(Flicker) 螢光灯にはちらつきがあつて早い動作、高速作動機等の照明に不便である。螢光色螢光灯の場合55%のちらつきがあるが、二本の螢光灯を用い簡単な裝置(コンデンサー使用)を加えることにより8%程度のちらつきに止めることが出来、尚又3本の螢光灯を三層交流の各相につなげば3%迄低下する。普通電球のちらつきが8%程度だからより以上フリツカーレス(ちらつき止め)となる譯だ。

(ロ)色が揃ひ難い。螢光塗料の比重の關係上同じ螢光色でも各管毎に色が揃ひない欠点がある。此の欠点はアメリカに於ても完全に克服することは困難の様だ。

(ハ)値段が高い。現在の日本に於ける螢光灯の値段は普通電球の約5倍である。からアメリカに於いては約5倍であるからせめて、此の程度迄メーカーに於けるコスト引下が望ましい。

(ニ)パワーファクター(力率)が悪い。普通約60%であるが、コンデンサーを使用することにより100%迄改善容易である。前述の2灯用フリツカーレス型、又は最近市販の「スタビラー」使用の場合力率は100%に改善される。

(ホ)ラヂオ雑音の原因となる。グロースイッチ型の場合点灯スタート數秒間にラヂオに雑音が入ることあり、之は0.05コイクロのコンデンサーをグロースイッチの筒處に使用すれば防止される。

(ヘ)外氣の溫度が低いと点灯し難い。螢光灯は管壁溫度攝氏40度が最良條件である冬季に於いて外氣の溫度が零度になると水銀の蒸氣壓減少の爲明るくならない。此の場合管の周圍にセルロイド等でカバーを附けると点灯後數分にして自然に管壁40度に達し明るくなる。冷蔵庫内の照明にも螢光灯一名冷光灯は熱を出さないから使用されているが此の場合も管の保温用カバーを使用する。

(ト)電壓の高下で壽命が縮まる。螢光灯は電壓が低くても高くても壽命が短くなり、又低電壓の場合と普通電球は暗くても灯いているが、螢光灯は約70V以下に降下すると消灯する。定電壓裝置により之を防ぎ得るから誘蛾灯には通常定電壓裝置を附けてある。

(チ)スイッチを入れてから点灯迄に數秒かかる。グロースイッチ又は押ボタン型共に數秒を要するが、即時点灯方式を使用することにより其の不便が除かれること前述の通りである。

以上(終りに經費の點を社員の方から聞くと、各社及び各取扱店で夫々異なるが、スタンドは器具により種々等差があるが、先ず金屬製のものなら2,000—位から其他1セット1,000—位から出来るそうである。工事費は電灯線からコードで使用出来るから特種の施設でない限り家庭では殆ど不要である。要は當初の設備が稍高價につくが、長期に使用する時は安價となる。尚故障のあつた時修理などにつき心配される向があるも、同社直接施工のものは責任を持つて後の養成にサービスされる由である。因に朝日電子工業株式會社は、大阪市大淀區大仁一丁目七番地(電話福島2315、5806番)

建 築 行 政 情 報 (1)

大 阪 府 建 築 部 指 導 課

西 島 勇
中 野 吉 彌
藤 井 信 一

建築法規は目が廻る程次から次に改廃されている。建築行政情報はこのめまぐるしい時代に生れたニュース・資料・解説・法規問答・を提供する役目を果たすものである。建築設計施工上の参考になれば幸甚である。

ニュース

臨時建築制限規則便覧

(25.2.4建設省令第4號改正)

用 途 別	築 造 別	構 造 別	規 模 別	大臣 許可	知事 許可	届 出	手続 不要	備 考
1. 劇場、映画館、寄席その他これに類する興行場 2. オーディトリウムを有する集會場（公民館、公會堂、労働會館を含む） 3. 舞踏場（同教習所を含む） キヤバレー 4. マーケット	新 築	木 造	300平方メートルをこえるもの	○				増築の場合は既存部分も加算する 第4條第1號
			300平方メートル以下のもの			○		増築の場合は既存部分を加算して上記規模以下のときに限る 第6條
	増 築	不 燃 耐 火 構 造	床關係鋼材100トンをこえるもの	○				第4條 第2號
			面關係鋼材10トンをこえ100トンのもの		○			第6條 第1號
	改 築	積 重 に 構 造	鋼材10トン以下のもの			○		第8條
			300平方メートル以下のもの			○		第8條
	改 造	其の他構造 すべての構 造	10平方メートル以下のもの				○	第10條第4條第1項但書
			昭22.2.8後に築造した300平方メートルをこえる物	○				第4條 第3號
	用途変更	木 造 木造以外の構造	昭22.2.8後に築造した300平方メートルをこえるもの	○				第4條 第3號
			300平方メートルをこえ1,000平方メートル以下のもの		○			第6條 第2號
			すべての構 造 300平方メートル以下のもの又は昭22.2.7以前の物				○	
1. 専用住宅、農家、漁家 2. 学校教育法による学校 3. 經青安定本部總裁の認證した公共事業にかかるもの	新 築 増 築 改 築	すべての構 造	床面積に關係なく(10平方メートル以下を除く)			○		第8條
			10平方メートル以下のもの				○	第10條
	用途変更	すべての構 造	床面積に關係なく				○	
1. 災害救助法により知事又は市町村長が救助のためにするもの 2. 90日以内の存続の丸太等の假設建築物 3. 水力発電所 4. 建設大臣の指定するもの	新 築 増 築 改 築	すべての構 造	床面積に關係なく				○	第10條
			床面積に關係なく				○	
	用途変更	すべての構 造	床面積に關係なく				○	

されたこと

劇場映画館等の特殊用途の木造建築物建築で300平方メートルを超える木造建築物の築造又は用途変更を伴う改造と築造する部分の床面積が1,000平方メートルを超える木造建築物又は築造する部分に使用する圧延鋼材が100トンを超える建築物の築造と用途変更のみに限定せられ大巾の緩和となつた。

5. 特別な取扱が廃止せられたこと

今迄は重要産業に属しているもの、又は登録貿易業者は特別な取扱を受けていたが、改正により全面的に廃止となつて一般と同じ取扱となつた。

6. 届出を要する建築物が全面的に緩和されたこと

築造する部分の床面積が300平方メートル以下のもの(第4条第1號の用途のものを除く)と築造する部分に使用する圧延鋼材が10トン以下の建築物を築造する場合は全面的に届出ること、それも工事着手前に届出ればよいことと着工届は必要なくなつた。

向専用住宅、農家、漁家、学校教育法による学校、経済安定本部總裁の認證した公共事業のものは坪數の如何にかゝらず届出をすればよいことになつた。

7. 脱法的連續建築行為を防止する規定が新に設けられたこと

改正規則によつて、8條の2が新たに設けられ昭和25年2月5日以後に竣功した建築物は竣功の日から6ヶ月経過しないと、竣功した部分の坪數が加算されることを規定され、脱法的な連續建築行為を防止する様になつた。

8. 知事の許可を受ける建築物が緩和されたこと

知事の許可を受けなければならない建築物については今回の改正によつて大巾に緩和されたのであるが、特定のものが別紙記載の第6條の規定による許可方針によつて甲種防火地區又は準防火地區内の木造建築物が規制せられ、耐火構造又は不燃構造になさねばならない様になり規則改正の趣旨に副むむ様になつた。

以上が今回改正の大体の要点であるが臨時建築制限規則許可方針、規則第6條の規定による許可方針を掲げて御参考にする次第である。

A 建設大臣の定める許可方針

規則第6條の規定による許可は次によること

(1) 木造建築物に対してはその地に於ける同種用途の建築物の量及び實際に利用されている状況を検討し、その用途の建築物が不足していると認められる場合に限り許可すること

(2) 不燃構造の建築物は資材の割当又は他の法令上支障なき限り許可すること

(3) 不燃構造の建築物の許可は木造建築物に優先して行うこと

(4) 指定生産資材割当規則等に違反して取得した資材を使用する建築物は許可しないこと

(5) 鉄鋼の割当を申請しているものに対しては、本省からの鉄鋼の割当數量の範囲内で緊要度の高いものから割当を定めること

(6) 遊休建築物の古鋼材の到用を図り特に左に掲げる用途に供する建築物に使用する鋼材はその過半數を古鋼材を利用せしむること

(イ) 劇場、映画館、寄席その他に類する興行場

(ロ) 舞踏場(舞踏教習所を含む)キャバレー

(ハ) 競輪場、競馬場の類

(7) 市街地においては、建築され又は建築されている同種用途の木造建築物に比して規模が特に大きな木造建築物は許可しないこと

(8) 多數公衆の使用に供する建築物又は保安上木造では不適當と認められる大規模の木造建築物は許可しないこと

(9) 建築物の設計が建築に関する法令上支障があると認められるもの又は其の設計では建物として不備で引續き増築等をしなければ完全に使用し得ないと認めた場合は許可しないこと

(10) 規則第6條第2號の許可に當つては新にその用途に供しようとする建築物を築造するものとして築造する場合の許可方針に合致し、且つ構造設備が新にその用途に供しようとする建築物に適している場合に限り許可することが出来る

但し改正規則により届出をした第8條に掲げる用途の建築物を他の用途に供する場合は当分の間許可しないこと

(11) 特定部門に属するもので、その申請にかかる築造の必要性につき疑義のある場合はその業種の属する主務官廳の所在の出先機關の意見をきき許可を決定すること

B 臨時建築制限規則第6條規定による許可方針

第1、臨時建築制限規則（以下規則という）第6條の規定による許可は、建設大臣の定める許可方針又はこの方針に従つてなすこと。

第2、法令に基く行政廳の處分若しくは占領軍の調達要求に關連し建築物を築造し又はその用途を變更する必要を生じた場合は、第1によらないで許可することができること。

第3、木造建築物を同一敷地内に築造する場合で、その床面積の合計が300平方メートルを超える場合はなるべく許可しないことを原則とするが、事情止むを得ない場合は、次の表に掲げる床面積の合算値及び階数を大凡の限度として許可することができること。この限度以上の場合は勿論のこと、この限度内で許可する場合でも、できるだけ、外壁その他の主要構造部分を不燃材料以上のもので構成せしめる措置を講じ、大規模木造建築物規制の趣旨に副わしめること。

表

単位平方メートル

分 類	用 途	築 造 位 置				備 考
		市街地建築物法適用域内			市街地建築物法適用域外	
		甲種防火 地 区	準 防 火 域	そ の 他		
1 類	待合、貸席 料亭、特殊飲食店、カフェーその他の 軽飲食店、喫茶店、常設展覽會場、觀 物場（興行場を除く）公衆浴場等	—	—	500	600 2 階 建	準防火區域以 上では不許可
2 類	旅館、下宿屋、宿泊寄宿舍、共同住宅 集會場（オーディトリウムを有するも のを除く）百貨店、遊技場、屋内運動 場等	—	500	600	600 2 階 建	甲種防火地區 では不許可
3 類	事務所、店舗、倉庫、病院、診療所、 公廳舍等	—	500	1,000	1,000 2 階 建	同 右
4 類	工場、作業場、事業場等	—	500	1,000	1,000	同 右
5 類	その他の用途のもの	500	500	1,000	1,000	

第4、廣告、展覽、觀覽等のための工作物の築造は、鐵骨造その他の木造以外のもので、過半量古鋼材を使用する場合は、許可することができること。

第5、規則第6條第2號の規定による用途變更をする場合は、左の各號の1に該当する場合は許可することができること

1、昭和25年2月5日以後に竣功した建築物をその竣功の日から6ヶ月以内に用途變更する場合で、新たにその用途に供する建築物を築造するものとしても第3の限度内に収まる場合。

2、昭和25年2月4日以前に竣功した建築物を用途變更する場合で、1の限度内に収まる場合、若しくは新な用途が従前の用途に類似し、且つ構造設備に變更を加えない場合。

建築積算便覧(第10回)

10. 鉄骨防錆塗工 (鉄骨ton當り面坪)				
算出公式 面坪/ton	平 鋼	$S = \frac{77.07}{A} + \frac{77.07}{T}$	山 型 鋼	$S = \frac{77.07}{A+B-T} + \frac{77.07}{T}$
	角 鋼	$S = \frac{154.14}{A}$	I・C型 鋼	$S = \frac{77.07}{A+2(B-T)} + \frac{77.07}{T}$
	丸 鋼	$S = \frac{154.14}{A}$	鋼 板	$S = \frac{77.07}{T}$
上記公式に於て S=鉄骨1ton當り塗面坪 A、B=2邊の長さ又は徑(mm) T=厚サ(mm)				
大體に於て 鉄骨1ton當り 9~12面坪なり。 (塗工 1~1.5人/ton)				

11. 型鋼の價格割合 (ton當り) L3×25×25 を 1.00とす。

寸 法	割 合	寸 法	割 合	寸 法	割 合
L 3×25×25	1.00	L 6×75×75	0.67	L 7×75×100	0.60
L 3×30×30	1.03	L 8×50×50	0.73	L 10×75×100	0.60
L 3×35×35	0.93	L 8×65×65	0.67	L 13×75×100	0.50
L 3×40×40	0.93	L 9×75×75	0.67	□ 5×50×100	1.23
L 4×50×50	0.97	L 10×90×90	0.60	□ 8×90×200	0.80
L 6×50×50	0.80	L 10×100×100	0.53	□ 9×90×250	0.63
L 6×65×65	0.73	L 12×75×75	0.53		

(註) 上表は自由價によるものとす。

12. 古軌條使用の鐵骨上家 (ton當り)

名 稱	摘 要	單位	數 量
鋼 材	古 軌 條	30kg	ton 0.840
	丸 鋼	16mmφ 小屋・柱面筋違	〃 0.043
	其 の 他	リベット・ボルト・プレート・ワッシャー	〃 0.117
	(計)		〃 1.000
勞 力	工 場 加 工	現寸・昇引・切込・孔明・火造・組立・鉸鉋	人 7
	現場組立・加工	取付共	〃 2
	小 運 搬	材料及副資材	〃 2
塗 装 費		錆止ペンキ塗り	坪 5
工 場 副 資 材		酸素・カーバイト・石炭・コークス・現寸引材料・熔接棒	式 1
運 搬 費			式 1
諸 経 費 及 雜 費		假締ボルト・電力経費・税金及諸掛り	式 1

7. 煉瓦及タイル工事

1. 煉瓦数等の算出及材料・労力

壁 厚		単位体積當りの枚数			単位面積當りの枚数			一段の単位長さの枚数		壁 厚 (尺)
		m³	立 坪	尺³	m²	面 坪	尺²	m	間	
0.5B		650	3910	18.1	65	215	6	4.8	8.3	0.33
		(8)	350)	16.2	63	203	5.8	4.4	8.0	0.36
1.0B		620	3730	17.3	130	430	12	9.1	16.7	0.70
		553	3340	15.4	125	412	11.5	8.8	16.0	0.75
1.5B		606	3650	16.9	195	646	18	13.9	25.0	1.05
		540	3250	15.1	187	615	17.2	13.2	24.0	1.14
2.0B		601	3610	16.7	261	862	24	18.2	33.4	1.42
		535	3220	14.9	250	825	23	17.6	32.0	1.53

(註) 上欄は、規格型 21.0×10.0×6.0cm (6.9×3.3×2.0寸) を示す。目地1cm.

下欄は、舊型 21.7×10.9×6.0cm (7.5×3.6×2.0寸) を示す。目地3分(1cm)

耐火煉瓦は 21.5×6.5cm (7.1×2.5×2.15寸) とす。

基礎 布煉瓦積 (延一間當り材料 厚0.5B)	基礎煉瓦段数	基礎の高サ (尺)	煉 瓦 (枚)	モルタル (立坪)	セメント (袋)	砂 (立坪)	煉瓦工 (人)	手 傳 (人)
	1 段	0.23	8	0.0007	0.042	0.0009	0.031	0.016
	2 段	0.46	16	0.0013	0.083	0.0017	0.062	0.031
	3 段	0.69	24	0.0021	0.124	0.0025	0.093	0.047
	4 段	0.92	32	0.0027	0.165	0.0034	0.123	0.062
	5 段	1.15	40	0.0033	0.217	0.0042	0.154	0.077
	6 段	1.38	48	0.0041	0.248	0.0052	0.185	0.093
	7 段	1.61	56	0.0046	0.290	0.0061	0.216	0.108
	8 段	1.84	64	0.0059	0.331	0.0068	0.246	0.123
	9 段	2.07	72	0.0067	0.372	0.0076	0.277	0.139
	10 段	2.30	80	0.0074	0.414	0.0084	0.308	0.154

(註) 1. 高さは目地1cm(3分)とし煉瓦は舊型とす。

2. 規格型の場合は煉瓦枚数、其他を約1.0倍するものとす。

3. 其の他断れ等を1.0倍とし見込むものとす。

4. セメントは、1袋5kg入りとす。

5. 上表は半枚積なるを以て、1枚積の場合は2倍するものとす。

作 業 種 別	単 位	煉 瓦 (枚)	モルタル (立坪)	セメント (袋)	砂 (立坪)	煉瓦工 (人)	手 元 (人)
床 煉 瓦 敷	平 敷 敷	158	0.015	0.74	0.05	0.23	0.12
	小 羽 敷	215	0.021	1.00	0.021	0.42	0.21
排 水 溝・溜 溝	煉瓦100枚	1050	0.092	5.16	0.105	4.30	2.15
煉 瓦 壁 下 地	壁厚 0.5B	215	0.020	1.00	0.021	0.73	0.36
	〃 1.0B	430	0.040	2.00	0.041	1.18	0.59
	〃 1.5B	645	0.060	3.00	0.062	1.28	0.64
	〃 2.0B	860	0.079	4.00	0.082	1.46	0.73
束 積	煉瓦1000枚	1050	0.083	4.66	0.095	4.60	2.30
根 積	〃 〃	1050	0.083	4.66	0.095	2.30	2.30

土 中 積	厚 3 B 〃 5 B 〃 10 B	1000枚に付	1050	0.083	4.66	0.095	1.25	1.25
		〃					1.11	1.34
		〃					1.01	1.50
塗 (化粧積)	厚 0.5 B 〃 1.0 B 〃 1.5 B 〃 2.0 B 〃 3.0 B	〃	〃	〃	〃	〃	2.22	1.11
		〃					2.22	1.11
		〃					2.00	1.00
		〃					1.82	0.91
		〃					1.88	0.94
迫 塗 下 地	厚 1.0 B 〃 1.5 B 〃 2.0 B 〃 3.0 B	〃	〃	〃	〃	〃	3.34	1.67
		〃					3.13	1.57
		〃					2.95	1.50
		〃					2.78	1.39
迫 洗 出 積	厚 1.0 B 〃 1.5 B 〃 2.0 B 〃 3.0 B	〃	〃	〃	〃	〃	6.70	3.35
		〃					8.41	4.20
		〃					5.00	2.50
		〃					4.03	2.00
煉 瓦 拵 へ	迫 持 切込曲形	〃	—	—	—	—	6.70	3.35
		〃	—	—	—	—	20.00	10.00
普 通 煉 瓦 積	厚 0.5 B 〃 2.0 B 〃 〃 〃 1.0 B	1 立坪	310	0.360	20.2	0.372	15.00	7.50
		〃	3610	0.333	18.6	0.344	6.40	3.20
		1 立方尺	18	0.002	0.09	0.002	0.05	0.03
		1 平方尺	12	0.004	0.06	0.004	0.03	0.02

布煉瓦基礎積 (煉瓦一〇〇〇枚に付)	名 稱	單 位	厚 0.5B	1.0B	1.5B	2.0B
	煉 瓦	枚	1050	1050	1050	1050
	セメント	50kg入	5.0	5.0	5.0	5.0
	砂	立坪	0.11	0.11	0.11	0.11
	煉瓦工	人	3.8	2.7	2.0	1.7
	人 夫	煉瓦工手元	〃	0.7	0.5	0.4
	〃	モルタル練	〃	0.8	0.6	0.4
〃	煉瓦・モルタル運搬	〃	1.7	1.2	0.9	0.8

煉瓦 小一日一人 運搬	建物の階数	1 階	2 階	3 階	4 階	5 階
	煉瓦() 枚	1500	1200	1000	950	900
	モルタル(煉瓦に對する) 枚分	2000	1600	1300	1100	1000

(註) 1. 上表は一日一人の運搬量を示すものとす。
2. 一荷は、關東地方は28枚、關西地方は24枚。

2. 煉瓦積アーチ拱架手間 (1面坪は付き)

梁 間 (m)	製 作		組 立		取 外 し		(計)	
	大 工	人 夫	大 工	人 夫	大 工	人 夫	大 工	人 夫
4m以下	1.8	0.9	1.2	2.1	0.6	2.4	3.6	5.4
6 〃	1.8	0.9	1.5	2.4	0.9	3.0	4.2	6.6
8 〃	3.0	1.5	2.4	3.9	1.2	4.2	6.6	9.6
10 〃	3.6	1.8	3.3	6.0	1.5	4.8	8.4	12.6

3. 煉瓦ドロ落し及毀し (煉瓦100枚に付)

名	稱	單位	セメント・モルタル積のもの		石灰モルタル積のもの	
			調合良き目地	ク 悪き目地	調合良き目地	ク 悪き目地
人	夫	人	0.0034	0.0020	0.0015	0.0011

4. 煉瓦張付 (面坪當り)

名	稱	單位	平坦なる平壁	開口部ある壁
化粧煉瓦		枚	554	554
モルタル	1:8配合とす	立坪	0.014	0.014
(セメント)	50kg入	袋	0.8	0.8
(砂)		立坪	0.016	0.016
左官		人	0.7	1.0
人夫		ク	0.25	0.45

5. 粧目地入れ (面坪當り)

名	稱	單位	平目地	廻輪目地
モルタル	1:2配合とす	立坪	0.0022	0.0022
(セメント)	50kg入とす	袋	0.16	0.16
(砂)		立坪	0.0022	0.0022
左官		人	0.2	0.3
人夫		ク	0.1	0.15

6. タイル張 (面坪當り)

タイル寸法及面坪當り枚數	方形		A	0.6	0.9	1.2	1.7	2.5	3.5	5.0	7.0	10.0
			枚/坪	9750	4450	2500	1250	580	244	144	73	36
	長方形		A	3.4	7.0		1.7	2.5	3.5	5.0	7.0	10.0
			B	2.0	2.0		0.9	1.2	1.7	2.5	3.5	5.0
			枚/坪	530	257		2350	1200	610	288	146	72
	六角		A		0.9	1.2	1.7	2.5	3.5	5.0		
			B		0.5	0.7	1.0	1.4	2.0	2.9		
			枚/坪		5350	2860	1420	690	342	163		
	八角		A					2.5	3.5	5.0		
			B					0.9	1.2	1.7		
			枚/坪					580	294	144		
	三角		A		0.9	1.2	1.7	2.5	3.5	5.0		
			B		1.3	1.9	2.5	3.5	5.0	7.0		
			枚/坪		8900	5000	2500	1160	588	288		
	丸		A	0.6								
			枚/坪	11200								
	三上角下		B		0.8	1.3						
					—							
	内外		A						3.5	5.0		
			B						0.8	1.3		
	隅隅		本/間						17.1	12.		

- (註) 1. A, B は、タイル各邊の寸法を示す。
 2. 下段のゴチツク欄は、1面坪當り概算數量(目地なし)を示す。但し内外隅笠木は1間當りの本數とす。
 3. □ 内は、特殊變形のものを示す。
 4. 本表は、同關係寸法のものを、上下同一行に配列せり。

タイル張所要勞力(面坪當り)	作 場 所	程 度 タイル寸法	平 壁	0.5 坪以内 の 場 合	笠木使用の 合 場	笠 木 使用 立上り	符物全部 使 用
カ ベ		5寸角	0.50	0.65	0.58	0.63	0.68
		3.5寸角	0.77	1.00	0.89	0.97	1.04
		小口	1.00	1.30	1.15	1.25	1.35
		1寸角以下	1.11	1.44	1.28	1.39	1.50
床		5寸角	0.33	0.43			
		3.5寸角	0.50	0.65			
		小口	0.67	0.87			
		1寸角以下	1.00	1.30			
	洗面所及流し台等		1.88				
タイル目地入れ 所要勞力(面坪當り)	小口型		タイル工1人にて7~9坪			面坪當り	0.125人
		3.5寸角	〃	7~11坪	〃	〃	0.11人
		5寸角	〃	11~15坪	〃	〃	0.08人

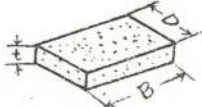
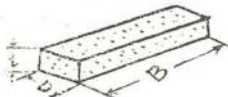
タイル貼モルタル所要量	1面坪につき 0.016立坪	{ セメント 約1袋 砂 約0.02立坪
-------------	-------------------	-------------------------

7. テラカツタ張付

名 稱	單 位	平 物 面 坪	煉形もの 間	額縁蛇腹 坪	化粧目地 面 坪
タイル工	人	1.0	0.25	3.0~5.0	0.17
人 夫	〃	1.0	0.25	3.0~5.0	0.17

8. 石・石工事

1. 石材寸法

出 來 合 品 寸 法 (單位尺)	名稱	板 石			延 石			間 知 石									
	形 狀																
	(花 崗 石 類)	呼 稱	B	D	t	呼 稱	B	D	t	呼 稱	L	面 ラ					
		二五板(小板)	2.5	1~1.2	0.3	四 五 延	3~6	0.5	0.4	三十六積	1.5	0.9×1.1					
		三 尺 板	3.0	1~2	〃	五 六 延	〃	0.6	0.5	三十積	1.8	1.0×1.2					
		三 五 板	3.5	〃	0.35	六 七 延	〃	0.7	0.6	二十五積	2.0	1.1×1.3					
		四 尺 板	4.0	〃	0.4	七 八 延	〃	0.8	0.7	二十積	2.3	1.3×1.5					
		四 五 板	4.5	〃	〃	尺 八 延	〃	1.0	0.8								
		五 尺 板	5.0	1.5~2	0.5	尺 二 延	〃	1.2	1.0								
	六 尺 板	6.0	〃	〃													
	用 途	張石・敷石・溝石				用 途	布石・椽石・段石			用途	石垣・根切磨打込み						
	名稱	玄 蕃 石			岩 岐 石			間 知 石									
(堅 石 類)	呼 稱	B	D	t	呼 稱	B	D	t	呼 稱	L	面 ラ						
	二 尺 板	1.9	0.9	0.2	八巾岩岐	不同	0.8	0.4	○ノ印	1.2	0.8×0.9						
	四 五 板	2.4	〃	〃	尺並 〃	〃	1.0	0.5	山ノ印	1.3	0.9×1.0						
	上 三 尺	2.9	1.0	0.25	イ印 〃	〃	1.1	0.6	七ノ印	1.5	1.0×1.1						
	大 三 尺	3.0	1.1	0.28	二印 〃	〃	1.2	0.7	イ 印	1.8	1.1×1.2						
	三 五 板	3.4	〃	0.3	三印 〃	〃	1.3	0.8	ロ 印	2.0	1.2×1.3						
									ハ 印	2.2	1.3×1.4						
	用 途	張石・敷石・箱組				用 途	石垣積			用途	石垣積						
	名稱	板 石			竿 石												
	(膏 石 類)	呼 稱	B	D	t	並 尺	2.7	0.7	0.6								
五 寸 板		2.7	0.7	0.3	尺 三	〃	0.8	0.7									
七 寸 板		〃	〃	0.4	大 尺 三	〃	1.0	0.9									
八 寸 板		〃	0.8	0.5	大 四 尺	4.0	〃	0.8									
九 寸 板		〃	0.9	0.6	五 尺	5.0	〃	〃									
尺 板		〃	1.0		六 尺	6.0	〃	〃									
用 途		張 石				用 途	布石・椽石・積石										
日本標準規格寸法(單位cm)	硬石・准硬石(角石)	巾	厚	長	〃	35	20	100	板	15	18	100					
		14	15	60		42	30	120		21	24	40					
		21				49	30			25	8~12						
		28				28				33							
		35				35				40							
		21	15	80		42	100			40	100						
		23				49				45							
		35				12				30			50				
		42				18							55				
		21	20	100	准軟硬石(角石)	24							60				
		28				30							65				

會 務 (4 月分)

新舊理事会 12日正午～3時 於 建設會館

正午より竹腰會長、吉田監事外17名出席舊理事会開催
24年度決算承認、次年度へ引継事項、委員会處理事項
協議、諸報告承認、會長より退任役員に謝意を表し午
餐後散會、2時より同所で新舊理事会開催、竹腰會長
外21名出席引継を了した後理事分掌、定例日、25年度
各部會委員會構成、會員銜銜、諸報告等協議承認した
後分掌毎に打合せ3時半散會。

新舊編集會 14日3時朝日にて舊編集會開催、当面問
題及引継事項協議。15日2時朝日にて新編集會開催引
継事項検討及25年度方針協議。28日2時から朝日6月
號九州支部號及7月號協議した。

建材審査委員會 17日正午 於朝日

置塩委員長外10名出席昨年来調査中のエマコートにつ
き最後の審査をなした。

府營アパート見學 會務委員會主催

18日2時から市内推寺町新築アパート見學。

住宅公庫説明會 18日10時～於 大手前會館

府住宅課主催に係る住宅公庫現状につき同課長外説明
會開催、市内各團體、新聞社關係、相談所等出席、本
會よりは大和常務理事出席した。

住宅展委員會 19日2時 朝日 大丸伸びる家展開期
切迫につき大丸副委員長最後打合せをした。

アサヒビール工場見學 20日2時

會務委員會主催にて吹田工場見學、本會としては戦後
始めての久々振り同工場見學の事で一同非常な満足
を得て6時頃解散した、會する者40余名。

和歌山會務委員會 23日2時

和歌山縣建築課長室で開催、奥村委員長外 6 名出席5
月下旬を期して支部設置の件を議した後發起人會を開
き直に本部に申出手續を進めた本部より大和常務理事
列席万般打合せを行った。

主 記 會 27日正午より 吉田主記理事外 5 名出席
委員會、部會構成其他理事會提案事項を協議した。

兵庫縣建設工業組合 三十周年式典舉行

兵庫建設工業組合にては創立後本年滿30年に相當する
ので組合30周年の記念式典が4月8日10時から盛大に舉
行された。第1日は神戸商工會議所で開催表彰式並賞狀
授與式に始まり11時から同所大會議室で記念式典に移った
式場委員長森本達雄氏開會の辭、山内専弘理事、経過報
告、小川副組合長廣領宣示、松浦組合長挨拶後建設大臣
縣知事外多數來賓の祝辭があつて接待委員長日下梅吉氏
開會の辭で1度休憩した。本會よりは尾崎久助理事と大
和常務理事列席したが、會長代理として尾崎理事が祝辭
を述べた。1時3階大ホールで200余名食卓につき同
組合の前途を祝福乾盃した。

越えて9日須磨寺で物故組合員の慰靈祭が又盛大に
取扱れた。尙近く記念史や組合員榮者名簿を發行するた
め目下着々準備中の由である。其完成を祈つて止まない
因に同日の綱領は下の通りであつた。

1. 信義と責任を重んじ、業界の信望を昂揚する
1. 徳性と品位の向上に努め、業界の權威を尊重する
1. 技術の研鑽と經營の合理化に徹し、業界の充實に精
神する
1. 範を世界に求め科學の活用と相俟つて世紀の革新を
期し業界に寄與する
1. 勞資協調、同業一致、共榮策化の實を挙げ、日本建
設業界の本領を發揮する

「伸びる家と住まい方」 出版

さきに本協會にて懸賞募集をした「伸びる家」
圖案中、入選、佳作及び選外優秀と認むるもの33
點を集録し、住まい方記事としてその道の各氏に
凡ゆる面から住宅に對する諸要點を御執筆願つた
ものを、B5號型 80 余頁に編集、斬新美麗な表
紙を配し出版した所、將來進歩的な新築をされる
爲又設計者及學生諸兄の參考書ともなり、住宅金
融金庫法案の通過と共に會場其他から時局柄大變
な好評を博している。

尙手持を有しているのので一冊を座右にせられん
事を御推奨する。

發賣所は朝日ビル六階及天神橋建設會館内分室
へ、又地方では東海、京都、兵庫、中國、和歌山
九州各支部の最寄りの所へ御申込の事。

定價は一部¥200、一本協會員は一部¥180。
—但送料實費(一部 18.—)、申受くる事。

タカラ風呂 タカラボイラー



ビックリする程
早く沸く
風呂とボイラー
二十有余年の経
験を有し最高の
製品と技術と誇る
御愛用を!



大阪市浪速区賑橋西詰角
株式會社 **タカラ商會**
代表取締役 保科 達治

名譽正會員 池田 實君の訃



本會名譽正會員兼顧問池田實君事豫て御静養中の所昭和25年4月24日西成區聖天下の自宅に於て73才の天壽を全し忽然として永眠され誠に痛惜の至りである。君は福島縣出身、第一高等學校を經、明治37年東大建築科卒

業直に大阪府警察部技師拜命、大正9年建築課長、大正13年12月依願免官、其間都市計画委員會幹事、府各委員神社學校設計監督等委囑、建築行政に盡された。當時高等官二等從四位勳五等に昇叙、退官後池田建築事務所開設旁々雜誌都人發行、又浪速高等豫備校長、京都大學工學部、府女專、名古屋高工、關西商工、工學專修校等の理事講師囑託、昭和15年日本建材協會々長、晩年池田佐久間建築事務所經營中であつた。

我日本建築協會には大正6年故片岡、武田、設樂氏等と共に創立委員となり、關西の一角に其旗幟を樹立された恩人である。爾來理事長、副會長、監事等に選され常に會の樞機に參畫、本會今日の隆盛に寄與された功績は多大である。就中昭和7、8年副會長時代、現在の朝日ビルに事務所移轉と同時に建築クラブ、建材陳列場開設15周年記念事業企画、大美野、上芝、瑞光寺、綠丘住宅博等の大事業は全く君の努力の賜である。昭和21年名譽正會員に24年顧問に推薦されたが、尙今後共本會の重鎮として君に俟つものが多かつたのに病のため遂に不歸の客となられ誠に痛恨追慕の念禁じ難いものがある。茲に故人の略歴と還曆當時の肖像を掲げ生前の御功績に対し厚く感謝の意を表し謹んで哀悼の誠を捧げ御冥福をお祈り申上げる。

因に葬儀は25日3時から神式により自宅で壯嚴に取り行われた。本會よりは代表井上副會長長弔詞朗誦、星、桐本、大和理事外事務局員參列拜葬盛儀であつた。

正會員 大西幸七君の訃



本會理事大西幸七君事豫て御加療中の處遂に藥石を無く、昭和25年4月14日阿倍野區阪南町東2丁目の自宅に於いて57才を一期として逝去され誠に痛惜の極みである。君は徳島縣出身、同縣三好農林學校卒業後池田專賣

局、神戸高見組、明正社大阪支店を經て昭和16年共榮商會を創設、同23年共榮瀝青工業株式會社を設立、アスファルト防水鋪裝耐酸耐油塗裝工事請負と建材の販賣をされ今日に至つたものである。その間居住地町會長、方面委員、民生委員等公私に亘り御奮闘をされていた。

本會には昭和16年入會、爾後理事、評議員、各委員會委員につかれ協會と業界のつながりに倒盡力を盡されていたが此の度不歸の客となられ、誠に哀惜の念禁じ難いものがある。茲に御生前の御功績に対し厚く感謝の意を表し謹んで哀悼の意を捧げ御冥福を祈る次第である。

因に告別式は4月14日午後2時から自宅に於いて盛大に催された。本會よりは代表大村副會長長弔詞朗誦、鈴木末尾評議員會議長、伴理事、大和常務理事外職員參列した。

實際に役立つ（主として工場建築について）

鋼構造の計算法テキスト 出來

豫て予告していた上記テキスト、長らく不足をつけ皆様に不便を與えていたが、この度印刷出來上つたので御希望の向は至急本部事務所又は各最寄支部へ申込みされたい。

尙價格は此の度の分は特價として、一部 145円（送料共）にてお頒ちする。

後記

新緑映ゆる5月の空、さる3月中旬より神戸及西宮にて開催されている日本貿易産業博及アメリカフェアを主題として取り上げたが、建築物としてはアメリカ博の方には大してとりあげるべきものがなく、神戸博が主となつた事は諒とされたい。

又写真紹介も新制作派會員による建造物が主となり、主催者側の神戸市建設局の野田建築課長よりも關西側設計に成る建造物をも紹介せよとの御指示もあつたが、編集委員諸子の意考により上記の如くなつた事は紙上を通じて全課長及び關係者に深くお詫び申し上げる次第である。記事も本紙掲載の外に岡田哲郎氏、齋藤寅郎氏、伊藤源次氏等にもお願いしていたが期日に間に合わず紙上を飾り得なかつた事は遺憾であつた。

本號の發行も種々の都合により大變遅れました事を會員諸兄にお詫び申し上げます。尙6月號は九州編集として6月初旬發行の豫定である。（編集部）

建築と社會

第31輯 第5號

賣價1部60円（送料共）

昭和25年4月25日印刷・昭和25年5月1日發行

編集發行人 戸川 弘
發行所 社團 日本建築協會
大阪市北區中ノ島3ノ3朝日ビル
電話 {土佐堀 ④ 1836-3631番
北濱 ② 1334~9番
振替口座大阪 39975番

大阪市東區北新町二丁目
印刷者 中川眞佐吉
大阪市東區北新町二丁目
印刷所 アポロ印刷所

第二回日本學術會議會員選舉と有権者登録について

- ◎ 第二回日本學術會議會員選舉が本年十二月に行われます。
- ◎ 第一回有権者名簿に登録された方も改めて新たに有権者名簿に登録しなければなりません。
- ◎ 本會は會員中凡そ有資格者と推定される方を豫備調査して選舉管理會に報告いたします。
- ◎ 選舉管理會から五月二十一日以降登録カードを直接送附いたしますから御入手の會員はそれによつて洩れなく登録を願います。
- ◎ 登録カードの提出期間は五月二十一日から七月二十日までであります。
- ◎ 有権者は管理會が審査の上認定いたします。
- ◎ 有資格者と思われる方で登録カードの届かない方は直接選舉管理會に御請求下さい。

(東京部台東區上野公園・日本學術會議選舉管理會)

日本學術會議會員選舉及び被選舉權有資格者條件

1. 科學又は技術の研究者であつて次の業務に従事し且つ業績をもつ者で同會議選舉管理會が認定した者
 - (1) 技術研究者——科學に連結して研究的態度をもつて技術に従事する者を意味し必ずしも研究機關に勤務するものに限らない。但し日常の業務が技術に関連している者(例えば設計場における製圖作業、機械の運轉、保守等機械的に行う業務に従事に従事する者、一科學の研究者の定義は單なる教員、行政官、會社員だけでは研究者と認められないことになつてゐる)であつてもそれだけでは研究者と認められない。又現に研究に従事していることを建前とする。しかし、かつて優れた研究者であつて、老齡その他の事情により、現在は直接研究に従事してはいないが、その活動が科學に寄與する者は含まれる。
 - (2) 研究論文——學術上の著書あるいは然るべき學術雜誌に掲載發表された論文、又は然るべき學會研究機關に文書をもつて提出し、機誌等に掲載する價值があるものと認められて受理されたものを意味する。
 - (3) 業務報告——學界研究機關の研究報告會等において口頭で發表した研究業績報告及び文書又は口頭により行われた業績報告(例えば學術上價值ある觀摩、鑑定書、調査書、大工事、大建造物工事報告、パイロットプラント建設報告等)の如き研究論文に準ずるものをいう。學術上價值ある特許明細書はこれに準ずる。
 - (4) 研究歴5年の意義 「2の(3)」研究歴は研究的態度をもつて研究に従事し始めた時から起算し、單に本會に入會した時又は研究機關等に勤務し始めた時からではない。例えば研究生となつた時又は研究助成金奨励金の交付を受けた時から起算する。
過去の研究歴が通計5年以上の者は勿論、今後も引續き研究に従事することが豫想され25年12月10日までに研究歴5年以上に達するものも含まれる。
2. 上記の條件を育し、且つ次の資格の一つをもつていなければならない。
 - (1) 大學(併制、舊制)卒業後2年以上の者。
 - (2) 専門學校、教員養成者學校又はこれらの學校と同等以上の學校卒業後4年以上の者。
(1)、(2)と同等以上の學力を有する者と認める國家試験合格者、外國の大學、専門學校卒業者は準ずる)
 - (3) その他研究歴5年以上の者。

神奈川県建築協会にては今般下記の通り失業救済と不燃化促進につき要路に請願し本會にも其協力方を申越された。

失業救済要旨及説明の大略

要旨 失業救済事業の實施に當つて、建築事業は從來あまり顧られなかつたのであるが、今後はこの認識を改めて、建築方面をも大いに重視する必要がある。殊に都市に於ける住宅建設などに力を注ぐことは時局下最も緊要であるのみならず、失業対策としても適切な措置と信ずるからこの點配慮あらむことを切望する。

説明 從來建築事業があまりとり上げられなかつた理由は色々あるが、建築に於ては全工事費に對する勞務賃銀の比率が約五分に過ぎず、残り半分は材料費であつて救済能率が低いということと、建築作業には熟練技能を必要とするから失業者救済には不向だとされてきたこと等が重なる點であつたと思う。

建築工事に於ける勞銀比は成程一見高率だとは言えないが、他面之に使われる材料には各種多様のものを含んでいるので、建築が動き出せばその及ぼす影響は頗る廣範圍にわたり、從つて失業者の増加を防ぎ各種生産工業力の温存向上を圖る上にはかり知られぬ効果がある。また作業には特殊技能を必要とする面も確に多いのだが、併し鐵筋コンクリート造の工事などになると木造家屋などと違つて左のみ熟練を要しない。誰にでも出来る様な仕事が著しく殖えて來るのである。それに今後豫想される失業者は多く都會的であり頭腦的もしくは工業的なものだと思われるから、地域的に見ても、適性作業と言う点から言つても、建築事業は之等を吸収するのに都合がよいと言える。

また以前には多數の勞務者を対象とするようなまとまつたものが乏しかつたが、不燃集合住宅の建設の如き大規模で永續性のある大仕事が生れてゐる。

かくの如く建築事業は失業対策として優れた性質をそなえているのであるが、更に日本の現状に於いては都市の再建、殊に不燃住宅建設の事業などは國民の活動力を恢復し、社會平和を維持するために不可欠の鍵として多數國民の渴望の的となつてゐる。

失業対策については徒らに舊慣になづむことなく積極的に建築事業をとり上げるべきであつて、緊急失業対策法に云う失業対策事業に於いてもこの點研究工夫せねばならぬが、殊に公共事業の企劃實施に當つては充分な認識を有つて貰いたいと思う。

不燃化促進請願要旨と説明

要旨 日本經濟再建産業復興は、先づ生産の本據として欠くことのできない住居及び生産部門の建物の急速な復興にあると信ずる。

然るに現下の經濟狀態は逼迫し、資金調達に頗る困難を招來して、政府の施策にも拘らず、これら建物の復興は遅々としてその進歩を見ない現状にある。

この窮狀を打開する方策として、特に防火地區内建築に對し、助成或は貸付金の方途を、また各種災害防止対策として、公共建物のみならず、民間建物に對しても必要な構造補強並びに改修及び防火改修等に對し助成の方途を講ぜられ、行き詰りの傾向にある建物の復興促進に積極的方策を實施されるよう懇願する。

説明

1 防火地區の指定による完全な防火施設をするために今日は資材の配給は有つても資金難のため、これが建築は、貸付金又は助成金なくしては甚だ困難な狀態である。

2 近時建物に關する災害が急増したのは、戦時中建物の維持管理の途が充分でなかつたこと、また終戦後は資材入手困難であつたこと等がその大きな原因であると考えられるが、金詰りの今日、これが建物の補修補強及び防火改修等一向に顧みられず放任の止むなき実情である。

3 日本經濟再建の一環として貿易の振興については最も強く要望されている所で、この種建物の復舊は焦眉の急とされているが、未だその対策が樹立されていない。

4 先般住宅復興公庫の設立問題がとりあげられ、住宅復興促進に對する政府の誠意ある対策については、その成果を大いに期待する所であるが更にこれを押し擴め、産業、貿易部門等に対しても公庫を擴充して、融資の方途を構ることが綜合復興の対策として、極めて緊要のことと考えあえて進言するものである。

之を要するに、再建の熱意、復舊の誠意はあれども資金等の關係にて足ぶみ狀態にあり、助成金補助金等の制を設けて、この隘路を打開せねば、日本再建はいたずらに掛け聲におわる惧れあり、建築不振こそ、日本復興に致命的な役割となるのを恐れる余り、この窮狀打開を請願するものである。

●第二集 第五号 掲載広告一覧（掲載順）

協和製作所

ケントク

松井商店

近畿電気工事

東海電気土木

大阪城口研究所

大阪電気商会

大阪暖房商会

桐田商会

斎藤久孝

須賀工業

西原衛生工業所

明正社

建材社

大和工業

栄興商会

三晃商会

江昌工業所

黒川化学工業所

林塗装店

水島商店

栗山板硝子店

亀井

三高製作所

中川ラス製作所

鈴木シャッタア工業

北尾商店

理研鋼材

平山円治商店

福島商事

日建鋼業

東建商会

ライトラバー興業

樫野石灰工業

藤本タイル営業所

吉田芳雄商店

石田建材店

三幸商会

尾北商店

佐村木商店

新京建材社

米谷建材店

山本建材社

木下謹三商店

寶珠園

日東商会

窪島建鉄

高田アルミニウム製作所

関西ベイント

大阪窯業セメント

宇部興産